

令和2年度（2020年度）
磐田市市民意識調査

調査結果報告書【概要版】

（案）

令和3年2月

磐 田 市

目 次

I	調査の概要	1
II	調査の結果 ～ 回答者の基本属性 ～	5
III	調査の結果 ～ 磐田市のまちづくりについて ～	9
	1. 磐田市の取組みについて	10
	2. まちへの想いについて	26
	3. 産業（商業・工業・農林水産業）について	36
	4. コミュニティについて	38
	5. 福祉について	46
	6. 子育て・教育について	48
	7. 広報・広聴について	52
	8. 行政運営について	56
	9. SDG s の取組みについて	60
	10. 市政への市民参画について	64
	11. 新型コロナウイルス感染症について	72
IV	調査の結果 ～ 共生社会について ～	77
	1. 男女共同参画社会について	78
	2. 多文化共生社会について	80
	3. セクシュアルマイノリティ（性的少数者）について	82
V	調査票	83

I 調査の概要

1. 調査の目的

令和4年度から8年度までのまちづくりの指針となる「第2次磐田市総合計画（後期基本計画）」を策定するにあたり、市民の目線に立って検討を行うために、これまで市で実施してきた取組みに対する市民の評価と、今後の取組みについて何う市民意識調査を実施した。

2. 調査の内容

- ◎回答者の基本属性
- ◎磐田市のまちづくりについて
- ◎共生社会について

3. 調査方法

対象者：市内に在住の18歳以上の市民
標本数：3,000人（無作為抽出）
調査方法：郵送配布一郵送回収
調査期間：令和2年7月22日～8月11日

4. 回収結果

発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000人	1,346人	1,343人	44.8%

※有効回収数は、回収数のうち無効票を除いた数。

5. 調査の信頼性

本調査は、対象となる母集団から、無作為に抽出した一部の人（標本）について調査を行う「標本調査」となっている。標本調査では、標本から母集団における数値を推定する際に生じる誤差（標本誤差）を伴う。本調査における標本誤差は以下の式で近似できる。

$$\varepsilon = \pm 2 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差
 N : 母集団数
 n : 比率算出の基数
 P : 回答比率

回答者総数（1,343人）を100%とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとすると、母集団（18歳以上の磐田市民全体）の回答比率は47.3%～52.7%の間であると推定される。

【本調査結果の標本誤差（信頼係数95%）】

回答比率	標本誤差
50%	±2.7%
60%または40%	±2.7%
70%または30%	±2.5%
80%または20%	±2.2%
90%または10%	±1.6%

6. 注意事項

- ・回答率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、比率の数値の合計が100.0%にならない場合がある。また、グラフにおける比率の合計は、コメントにおける比率の合計と一致しない場合がある。
- ・複数回答可の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。
- ・グラフ中の「n（Number of caseの略）」は基数で、その質問に回答すべき人数を表している。
- ・本文中に「前回調査」とあるものは、平成27年度調査を指している。
- ・性別・年代・居住地区を分析軸として、それぞれの上位5位を示した集計表は、「その他」・「特にない」・「わからない」の回答および無回答を除いた順位である。

このページは白紙です

Ⅱ 調査の結果

～ 回答者の基本属性 ～

1. 回答者自身について

(1) 性別

No.	問 42 性別<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	男性	639	47.6
2	女性	683	50.9
	無回答	21	1.6
合計		1,343	100.0

(2) 年齢

No.	問 43 年齢<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	30歳未満	77	5.7
2	30～39歳	125	9.3
3	40～49歳	177	13.2
4	50～59歳	235	17.5
5	60～69歳	285	21.2
6	70～79歳	369	27.5
7	80歳以上	53	3.9
	無回答	22	1.6
合計		1,343	100.0

(3) 職業

No.	問 44 職業<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	勤め人 (会社員・公務員・団体職員)	505	37.6
2	会社・団体の役員	30	2.2
3	農林漁業の自営業	17	1.3
4	商・工・サービス業等の自営業	59	4.4
5	自由業・専門的職業 (開業医、弁護士、芸術家等)	29	2.2
6	パート・アルバイト	170	12.7
7	学生	3	0.2
8	専業主婦 (夫)	143	10.6
9	無職	349	26.0
10	その他	11	0.8
	無回答	27	2.0
合計		1,343	100.0

(4) 主な通勤・通学先

No.	問 45 主な通勤・通学先<○印を1つ>	人数(人)	割合(%)
1	自宅	82	6.1
2	磐田市内(自宅以外)	484	36.0
3	浜松市	122	9.1
4	袋井市	83	6.2
5	森町	7	0.5
6	掛川市	25	1.9
7	その他	30	2.2
8	通勤・通学していない	385	28.7
	無回答	125	9.3
合計		1,343	100.0

(5) 家族構成

No.	問 46 家族構成<○印を1つ>	人数(人)	割合(%)
1	単身(ひとり暮らし)	508	37.8
2	一世代(夫婦のみ)	301	22.4
3	二世世代(親と子)	377	28.1
4	三世世代(親と子と孫)	103	7.7
5	兄弟姉妹	10	0.7
6	その他	21	1.6
	無回答	23	1.7
合計		1,343	100.0

(6) 同居している中学生以下の者

((5) 家族構成で「二世世代(親と子)」～「その他」と回答した方のみ)

No.	問 47 同居している中学生以下の者 <該当するものすべてに○印>	人数(人)	割合(%)
1	未就学児	79	15.5
2	小学生	117	22.9
3	中学生	73	14.3
4	中学生以下の者はいない	239	46.8
	無回答	67	13.1
合計		511	100.0

(7) 居住地区

No.	問 48 居住地区<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	見付地区	193	14.4
2	中泉・今之浦地区	226	16.8
3	岩田・大藤・向笠地区	78	5.8
4	西貝・御厨・南御厨・田原地区	141	10.5
5	天竜・長野・於保地区	115	8.6
6	福田地区	124	9.2
7	竜洋地区	134	10.0
8	富岡・豊田東・池田地区 (豊田中学校区)	101	7.5
9	井通地区・青城地区 (豊田南中学校区)	118	8.8
10	豊岡地区	80	6.0
11	わからない	5	0.4
	無回答	28	2.1
合計		1,343	100.0

(8) 住居形態

No.	問 49 住居形態<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	持家	982	73.1
2	借家・借間	289	21.5
3	社宅・官舎・寮など	38	2.8
4	その他	10	0.7
	無回答	24	1.8
合計		1,343	100.0

(9) 磐田市での居住年数

No.	問 50 磐田市での居住年数<○印を1つ>	人数 (人)	割合 (%)
1	2年未満	56	4.2
2	2年以上5年未満	74	5.5
3	5年以上10年未満	89	6.6
4	10年以上20年未満	127	9.5
5	20年以上	972	72.4
	無回答	25	1.9
合計		1,343	100.0

Ⅲ 調査の結果

～ 磐田市のまちづくりについて ～

1. 磐田市の取組みについて

(1) 市政全般の満足度

問1 市政全般についてどの程度満足していますか？ <○印を1つ>

市政全般について、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が7割以上

■前回調査との比較

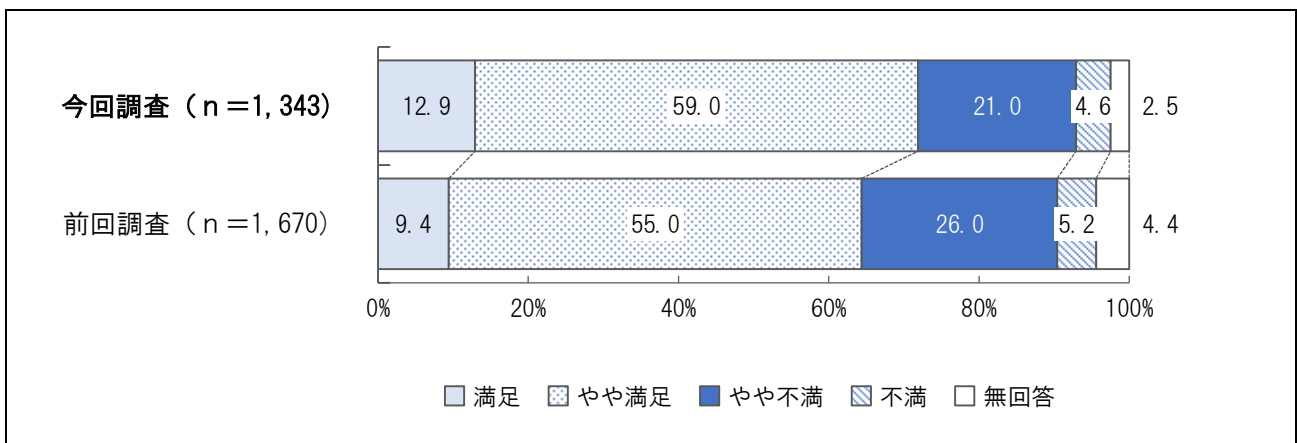
『満足』が7.5ポイント増加し、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が5.6ポイント減少している

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべての年代で『満足』が6割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『満足』が6割を超えている



■今回調査の結果

・『満足』（「満足」＋「やや満足」）は71.9%、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は25.6%となっている。

■前回調査との比較

・『満足』が7.5ポイント増加している。
・『不満』が5.6ポイント減少している。

■傾向

【性別別】

・性別に大きな差はない。
・『満足』が男性では71.2%、女性では73.2%となっている。

【年代別】

・すべての年代で『満足』が6割を超えている。
・『満足』は30歳未満（81.8%）が最も多く、次いで30歳代（81.6%）、70歳以上（73.4%）となっている。
・『不満』は60歳代（30.6%）が最も多く、次いで40歳代（28.8%）、50歳代（28.1%）となっている。

【居住地区別】

・すべての居住地区で『満足』が6割を超えている。
・『満足』は、富岡・豊田東・池田地区（80.2%）が最も多く、次いで西貝・御厨・南御厨・田原地区（80.1%）、井通地区・青城地区（74.6%）となっている。

(2) 市役所の仕事ぶりの満足度

問2 市役所の仕事ぶりについてどの程度満足していますか？ <○印を1つ>

市役所の仕事ぶりについて、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が7割以上

■前回調査との比較

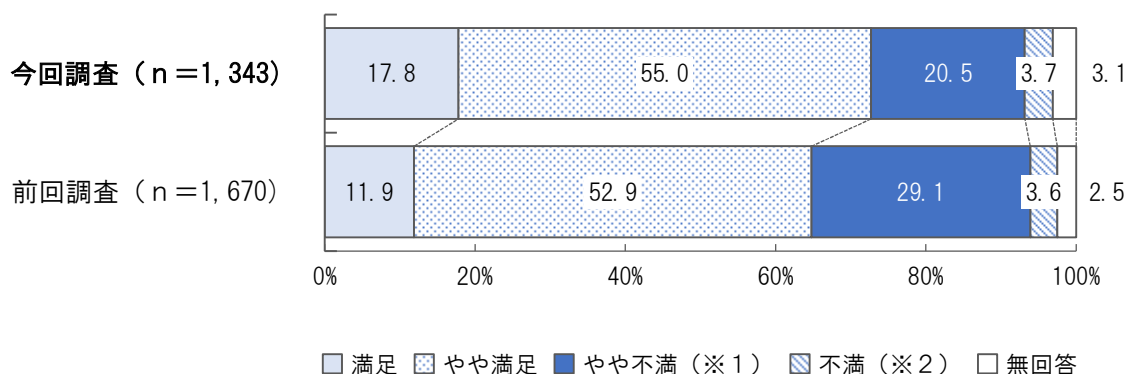
『満足』が8.0ポイント増加し、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が8.5ポイント減少している

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべての年代で『満足』が6割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『満足』が6割を超えている



※1：前回調査の選択肢は、「改善すべき点がある」であった。

※2：前回調査の選択肢は、「思い切った改革をすべきである」であった。

■今回調査の結果

・『満足』（「満足」＋「やや満足」）は72.8%、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は24.2%となっている。

■前回調査との比較

・『満足』が8.0ポイント増加している。

・『不満』が8.5ポイント減少している。

■傾向

【性別】

- ・性別に大きな差はない。
- ・『満足』が、男性では73.0%、女性では72.7%となっている。

【年代別】

- ・すべての年代で『満足』が6割を超えている。
- ・『満足』は、30歳未満(85.7%)が最も多く、次いで70歳以上(77.0%)、30歳代(73.6%)となっている。
- ・『不満』は、40歳代(30.5%)が最も多く、次いで60歳代(29.9%)となっている。

【居住地区別】

- ・すべての居住地区で『満足』が6割を超えている。
- ・『満足』は、見付地区(77.2%)が最も多く、次いで中泉・今之浦地区(76.6%)、井通地区・青城地区(73.7%)、西貝・御厨・南御厨・田原地区(73.0%)となっている。

(3) 市役所の仕事ぶりを不満に思う一番の理由

(問2で「やや不満」又は「不満」と回答した方のみ)

問3 その一番の理由は何ですか? <○印を1つ>

不満に思う一番の理由は、「利用時間が不便である」

■前回調査との比較

「職員の対応や態度が悪い」は4.9ポイント減少している

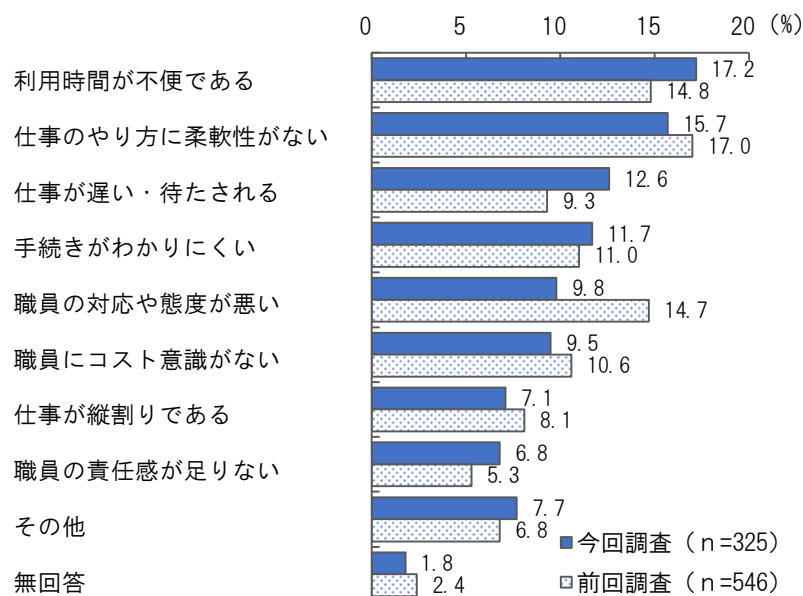
■傾向

【性別】男性では「利用時間が不便である」、女性では「仕事のやり方に柔軟性がない」が最も多い

【年代別】複数の年代で最多となっている理由は「利用時間が不便である」

【居住地区別】複数の地区で最多となっている理由は以下のとおり

- ・「利用時間が不便である」
- ・「仕事のやり方に柔軟性がない」
- ・「手続きがわかりにくい」
- ・「職員の対応や態度が悪い」
- ・「職員にコスト意識がない」



■今回調査の結果

- ・「利用時間が不便である」(17.2%) が最も多く、次いで「仕事のやり方に柔軟性がない」(15.7%)、「仕事が遅い・待たされる」(12.6%) となっている。

■前回調査との比較

- ・増加している項目は、「仕事が遅い・待たされる」(3.3 ポイント)、「利用時間が不便である」(2.4 ポイント)、「職員の責任感が足りない」(1.5 ポイント)、「手続きがわかりにくい」(0.7 ポイント) となっている。
- ・減少している項目は、「職員の対応や態度が悪い」(4.9 ポイント)、「仕事のやり方に柔軟性がない」(1.3 ポイント)、「職員にコスト意識がない」(1.1 ポイント)、「仕事が縦割りである」(1.0 ポイント) となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・男性では「利用時間が不便である」(20.1%) が最も多く、次いで「仕事のやり方に柔軟性がない」(13.6%)、「仕事が遅い・待たされる」(13.0%) となっている。
 - ・女性では「仕事のやり方に柔軟性がない」(18.1%) が最も多く、次いで「利用時間が不便である」(14.5%)、「職員の対応や態度が悪い」(12.0%) となっている。

- 【年代別】**
- ・30歳未満、40歳代、50歳代では「利用時間が不便である」が最も多い。
 - ・30歳代では「職員の対応や態度が悪い」(23.3%) 最も多い。
 - ・60歳代では「仕事が遅い・待たされる」「利用時間が不便である」「仕事のやり方に柔軟性がない」がそれぞれ15.3%と最も多い。
 - ・70歳以上では「手続きがわかりにくい」(17.7%) が最も多い。

- 【居住地区別】** 複数の地区で最多となっている理由は以下のとおり。
- ・「利用時間が不便である」：
中泉・今之浦地区(29.2%)、西貝・御厨・南御厨・田原地区(24.3%)、竜洋地区(17.6%)
 - ・「仕事のやり方に柔軟性がない」：
岩田・大藤・向笠地区(22.2%)、福田地区(17.6%)、井通地区・青城地区(28.6%)
 - ・「手続きがわかりにくい」：
岩田・大藤・向笠地区(22.2%)、竜洋地区(17.6%)、富岡・豊田東・池田地区(20.0%)
 - ・「職員の対応や態度が悪い」：
天竜・長野・於保地区(21.4%)、福田地区(17.6%)
 - ・「職員にコスト意識がない」：
富岡・豊田東・池田地区(20.0%)、豊岡地区(20.8%)

(4) 総合計画の基本施策の取組みの満足度

問4 磐田市では、総合計画に示す次の31の基本施策に取り組んでいます。次の①から⑳の各項目の満足度と重要度について、どのように感じていますか？

〈○印をそれぞれ1つ〉

満足度指数が高い基本施策は、

- ・「水道水の安定供給と下水道の整備」
- ・「消防・救急体制の充実」
- ・「スポーツの振興」

満足度指数が低い基本施策は、

- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「計画的な土地利用の推進」
- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」

■ 前回調査との比較

満足度指数の上昇幅が大きい基本施策は、

- ・「中小企業等の競争力強化と企業立地の推進」
- ・「共生社会の確立」
- ・「コミュニティと市民活動の活性化」

満足度指数が減少した基本施策は、

- ・「特色ある教育の推進」
- ・「快適な生活環境の確保」
- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「効率的・効果的な行政運営の推進」

■ 傾 向

【性別】 大きな差はない

【年代別】 複数の年代で満足度指数が高い施策は、

- ・「スポーツの振興」
- ・「水道水の安定供給と下水道の整備」

【居住地区別】 複数の居住地区で満足度指数が高い施策は、

- ・「スポーツの振興」
- ・「水道水の安定供給と下水道の整備」

満足度指数の算出

満足度指数	満足度指数とは、「満足」に4点、「やや満足」に3点、「やや不満」に2点、「不満」に1点を加点し、回答人数に掛け、回答総数（無回答数を除く）で除したもので、4に近いほど満足度が高く、1に近いほど満足度が低いことを示している。
-------	---

■ 満足度指数順位表（抜粋）

順位	分野	基本施策	満足度指数
1	都市基盤・環境	水道水の安定供給と下水道の整備	2.97
2	防災・消防・安全安心	消防・救急体制の充実	2.91
3	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	スポーツの振興	2.90
4	健康・福祉	健康づくりの推進	2.88
5	都市基盤・環境	環境にやさしい社会の確立	2.79
27	行財政改革	機動的な組織体制の構築と人材の育成	2.60
28	産業・雇用・観光・移住定住	移住・定住の推進	2.59
29	産業・雇用・観光・移住定住	産業を担う人材の育成・就労の支援	2.58
30	都市基盤・環境	計画的な土地利用の推進	2.55
31	都市基盤・環境	公共交通体系と道路網の整備	2.47

■今回調査の結果

- ・『満足』（「満足」＋「やや満足」）が多い上位5項目は、「水道水の安定供給と下水道の整備」（74.5%）、「消防・救急体制の充実」（72.8%）、「スポーツの振興」（71.4%）、「健康づくりの推進」（70.4%）、「環境にやさしい社会の確立」（68.7%）となっている。
- ・『不満』（「やや不満」＋「不満」）が多い上位5項目は、「公共交通体系と道路網の整備」（46.0%）、「産業を担う人材の育成・就労の支援」（41.1%）、「計画的な土地利用の推進」（40.9%）、「機動的な組織体制の構築と人材の育成」（39.1%）、「移住・定住の推進」（38.7%）となっている。
- ・満足度指数が高い上位5項目は、「水道水の安定供給と下水道の整備」（2.97）、「消防・救急体制の充実」（2.91）、「スポーツの振興」（2.90）、「健康づくりの推進」（2.88）、「環境にやさしい社会の確立」（2.79）となっている。
- ・満足度指数が低い上位5項目は、「公共交通体系と道路網の整備」（2.47）、「計画的な土地利用の推進」（2.55）、「産業を担う人材の育成・就労の支援」（2.58）、「移住・定住の推進」（2.59）、「機動的な組織体制の構築と人材の育成」（2.60）となっている。

■前回調査との比較

- ・満足度指数が増加している基本施策は、「中小企業等の競争力強化と企業立地の推進」（0.20ポイント）が最も大きく、次いで「コミュニティと市民活動の活性化」（0.17ポイント）、「共生社会の確立」（0.16ポイント）となっている。
- ・満足度指数が減少している基本施策は、「特色ある教育の推進」（0.05ポイント）、「快適な生活環境の確保」（0.05ポイント）、「公共交通体系と道路網の整備」（0.04ポイント）、「効率的・効果的な行政運営の推進」（0.02ポイント）、となっている。

■傾向

【性別】

- ・性別に大きな差はない。
- ・男性の満足度指数は、「水道水の安定供給と下水道の整備」（2.95）が最も高く、次いで「スポーツの振興」（2.88）、「消防・救急体制の充実」（2.86）となっている。
- ・女性の満足度指数は、「水道水の安定供給と下水道の整備」（3.00）が最も高く、次いで「消防・救急体制の充実」（2.96）、「健康づくりの推進」（2.96）となっている。
- ・男性、女性ともに、「公共交通体系と道路網の整備」の満足度指数が最も低く、次いで「計画的な土地利用の推進」となっている。

【年代別】

- ・30歳未満、30歳代の満足度指数は、「スポーツの振興」が最も高く、次いで「水道水の安定供給と下水道の整備」となっている。
- ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の満足度指数は「水道水の安定供給と下水道の整備」が最も高くなっている。
- ・40歳代の満足度指数は「計画的な土地利用の推進」が最も低く、40歳代以外の年代では「公共交通体系と道路網の整備」が最も低い。

【居住地区別】

- ・満足度指数は、岩田・大藤・向笠地区は「消防・救急体制の充実」、天竜・長野・於保地区、井通地区・青城地区は「スポーツの振興」、それ以外の居住地区は、「水道水の安定供給と下水道の整備」が最も高くなっている。
- ・中泉・今之浦地区、豊岡地区は「計画的な土地利用の推進」、福田地区は「移住・定住の推進」、竜洋地区、富岡・豊田東・池田地区は「産業を担う人材の育成・就労の支援」、それ以外の地区は「公共交通体系と道路網の整備」が最も低い

(5) 総合計画の基本施策の取組みの重要度

問4 磐田市では、総合計画に示す次の31の基本施策に取り組んでいます。次の①から⑳の各項目の満足度と重要度について、どのように感じていますか？ <○印をそれぞれ1つ>

重要度指数が高い基本施策は、

- ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「地域医療体制の充実」
- ・「消防・救急体制の充実」

重要度指数が低い基本施策は、

- ・「ブランド力の強化とシティプロモーションの推進」
- ・「スポーツの振興」
- ・「文化の振興と歴史遺産の整備、活用」

■前回調査との比較

重要度指数の上昇幅が大きい基本施策は、

- ・「共生社会の確立」
- ・「良好な住環境の整備」
- ・「学習機会の充実」

■傾 向

【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で重要度指数が高い基本施策は、

- ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「地域医療体制の充実」

【居住地区別】複数の居住地区で満足度指数が高い基本施策は、

- ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「地域医療体制の充実」

重要度指数の算出

重要度指数	重要度指数とは、「重要」に4点、「やや重要」に3点、「あまり重要でない」に2点、「重要でない」に1点を加点し、回答人数に掛け、回答総数（無回答数を除く）で除したもので、4に近いほど重要度が高く、1に近いほど重要度が低いことを示している。
-------	--

■重要度指数順位表（抜粋）

順位	分野	基本施策	重要度指数
1	防災・消防・安全安心	危機管理・防災対策の推進	3.73
2	健康・福祉	地域医療体制の充実	3.72
3	防災・消防・安全安心	消防・救急体制の充実	3.67
4	防災・消防・安全安心	市民生活の安全・安心の確保	3.66
5	子育て・教育	子ども・子育て支援の充実	3.61
27	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	共生社会の確立	3.19
28	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	コミュニティと市民活動の活性化	3.17
29	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	文化の振興と歴史遺産の整備、活用	3.12
30	自治・スポーツ・文化・歴史・共生	スポーツの振興	3.11
31	産業・雇用・観光・移住定住	ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	3.06

■今回調査の結果

- ・『重要』（「重要」＋「やや重要」）が多い上位5項目は、「危機管理・防災対策の推進」（89.2%）、「地域医療体制の充実」（89.0%）、「消防・救急体制の充実」（88.3%）、「市民生活の安全・安心の確保」（87.8%）、「水道水の安定供給と下水道の整備」（87.8%）となっている。
- ・『重要でない』（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が多い上位5項目は、「ブランド力の強化とシティプロモーションの推進」（19.8%）、「スポーツの振興」（15.3%）、「文化の振興と歴史遺産の整備、活用」（15.1%）、「移住・定住の推進」（14.0%）「コミュニティと市民活動の活性化」（13.9%）となっている。
- ・重要度指数が高い上位5項目は、「危機管理・防災対策の推進」（3.73）、「地域医療体制の充実」（3.72）、「消防・救急体制の充実」（3.67）、「市民生活の安全・安心の確保」（3.66）、「子ども・子育て支援の充実」（3.61）となっている。
- ・重要度指数が低い下位5項目は、「ブランド力の強化とシティプロモーションの推進」（3.06）、「スポーツの振興」（3.11）、「文化の振興と歴史遺産の整備、活用」（3.12）、「コミュニティと市民活動の活性化」（3.17）、「共生社会の確立」（3.19）となっている。

■前回調査との比較

- ・すべての基本施策で上昇している。
- ・重要度指数が増加している基本施策は、「共生社会の確立」（0.44ポイント）が最も大きく、次いで「学習機会の充実」（0.42ポイント）、「良好な住環境の整備」（0.42ポイント）となっている。

■傾 向

- 【性別別】**
 - ・性別に大きな差はない。
 - ・男性の重要度指数は、「危機管理・防災対策の推進」（3.69）が最も高く、次いで「地域医療体制の充実」（3.64）、「市民生活の安全・安心の確保」（3.60）となっている。
 - ・女性の重要度指数は、「地域医療体制の充実」（3.81）が最も高く、次いで「危機管理・防災対策の推進」（3.78）、「消防・救急体制の充実」（3.73）となっている。
- 【年代別】**
 - ・30歳未満、30歳代、40歳代の重要度指数は、「危機管理・防災対策の推進」が最も高くなっている。
 - ・50歳代、60歳代、70歳以上の重要度指数は「地域医療体制の充実」が最も高くなっている。
 - ・30歳未満、30歳代、40歳代、50歳代の重要度指数が高い5施策と、60歳代、70歳以上の重要度指数が高い4施策は、順位の違いはあるが同じ施策となっている。
- 【居住地区別】**
 - ・すべての居住地区で、重要度指数は「危機管理・防災対策の推進」又は「地域医療体制の充実」が最も高くなっている。

満足度と重要度の分布状況による分析

重要度が高く、満足度が低い「重点課題施策」は、

- ・「元気な農林水産業の育成」 ・「中小企業等の競争力強化と企業立地の推進」
- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」 ・「高齢者福祉の充実」
- ・「障がい児者福祉の充実」 ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「公共交通体系と道路網の整備」

■傾 向

【性別】男女ともに「重点課題施策」である基本施策は、

- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」

【年代別】ほとんどの世代で「重点課題施策」である基本施策は、

- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」

【居住地区別】すべての居住地区で「重点課題施策」である基本施策は、

- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」

31 の基本施策の満足度指数と重要度指数をもとに、横軸に満足度、縦軸に重要度をおき、その分布状況を、散布図として整理した。

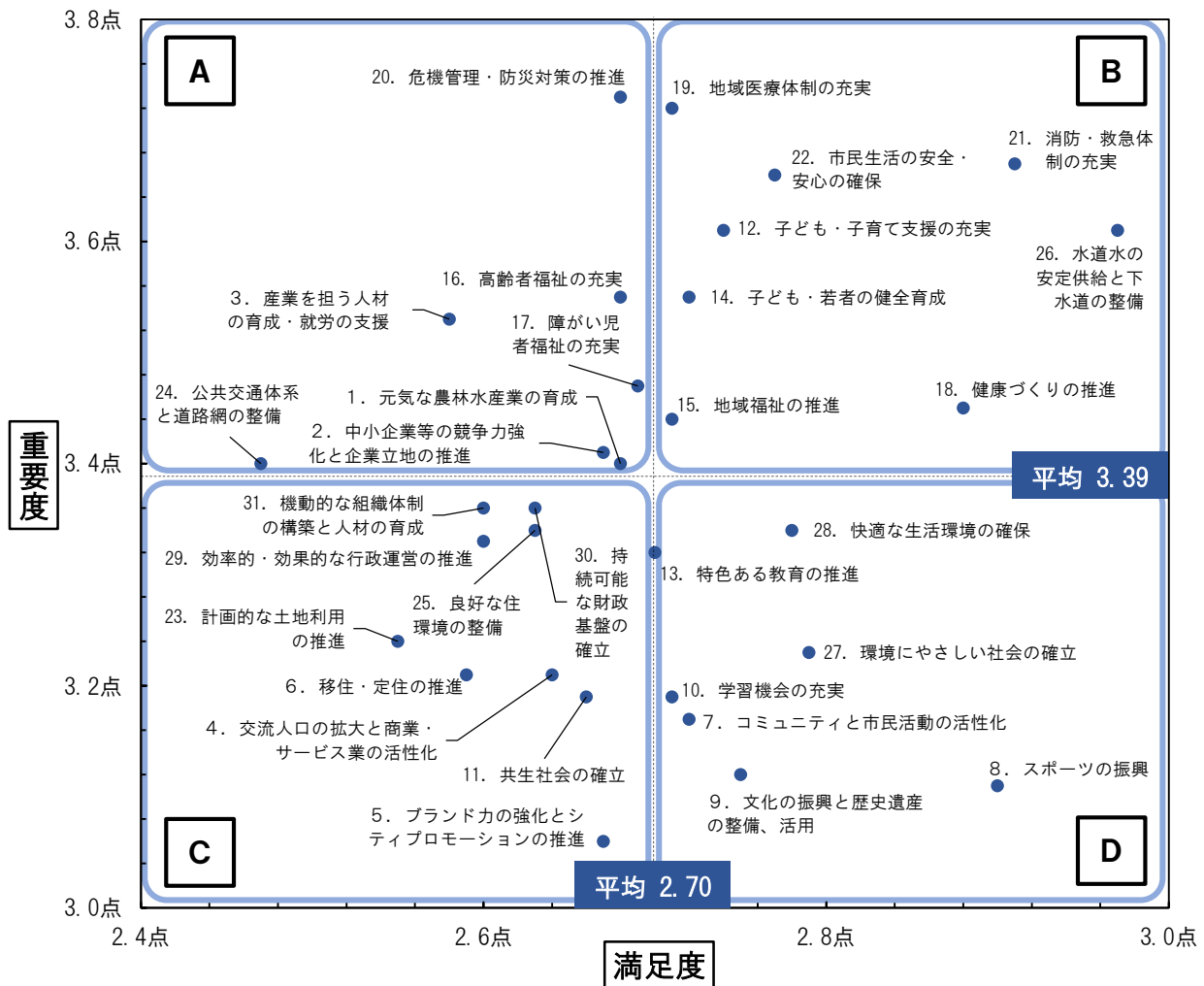
散布図は、各平均値（満足度：2.70、重要度：3.39）を基準（境）とした下記の4つの領域に分類し、満足度と重要度の関係を示している。

なお、A～Dの領域分類は、あくまで優先度および重要度の中間値で総体的に分類したものであり、各施策を明確に区分するものではない。

（4つの領域）

区分	領域名	満足度	重要度	内容
A	重点課題施策	低い	高い	これまでの取組みを重点的に検証していく必要のある施策
B	継続維持施策	高い	高い	現在の水準を継続維持するため、今後とも着実に取り組む必要のある施策
C	検討課題施策	低い	低い	これまでの取組みを検証するとともに、施策の重要性を市民に広めていく
D	成果検証施策	高い	低い	これまでの取組みを検証するとともに、事業のあり方を精査する必要のあ

■散布図（全体）



■今回調査の結果

・「重点課題施策」は、以下の7施策となっている。

- 「元気な農林水産業の育成」 「中小企業等の競争力強化と企業立地の推進」
- 「産業を担う人材の育成・就労の支援」 「高齢者福祉の充実」
- 「障がい児者福祉の充実」 「危機管理・防災対策の推進」
- 「公共交通体系と道路網の整備」

■傾向

- 【性別】**
- ・男女ともに「重点課題施策」である基本施策は、「産業を担う人材の育成・就労の支援」となっている。
 - ・男女ともに「維持継続施策」である基本施策は、「消防・救急体制の充実」「市民生活の安全・安心の確保」「水道水の安定供給と下水道の整備」となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満以外のすべての世代で「重点課題施策」である基本施策は、「産業を担う人材の育成・就労の支援」となっている。
 - ・すべての年代で「維持継続施策」である基本施策は、「消防・救急体制の充実」「水道水の安定供給と下水道の整備」となっている。
- 【居住地区別】**
- ・すべての居住地区で「重点課題施策」である基本施策は、「産業を担う人材の育成・就労の支援」となっている。
 - ・すべての居住地区で「維持継続施策」である基本施策は、「消防・救急体制の充実」となっている。

要望度による分析

要望度指数が高い基本施策は、

- ・「危機管理・防災対策の推進」
- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「地域医療体制の充実」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も指数が高い基本施策は、

- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「危機管理・防災対策の推進」

【居住地区別】複数の居住地区で最も指数が高い基本施策は、

- ・「公共交通体系と道路網の整備」
- ・「産業を担う人材の育成・就労の支援」
- ・「危機管理・防災対策の推進」

施策の重要度が高く、かつ満足度が低いほど、市民の要望が高い施策と考えられることから、ここでは、31の基本施策の満足度指数と重要度指数をもとに、要望度指数を算出し、整理、分析を行った。

要望度指数は、下記のとおり算出し、重要度が高く、満足度が低いほど、その点数が高くなる指標となっている。

なお、要望度指数は、今後の行政サービス向上、効率的・効果的施策を展開していくための指標として、定義し、点数化したものであり、要望度指数の順位がそのまま施策の優先度等を示すものではない。

$$\text{要望度指数} = \text{重要度指数} \times (5 - \text{満足度指数})$$

■要望度順位表（抜粋）

順位	分野	基本施策	要望度指数
1	防災・消防・安全安心	危機管理・防災対策の推進	8.67
2	都市基盤・環境	公共交通体系と道路網の整備	8.62
3	健康・福祉	地域医療体制の充実	8.54
4	産業・雇用・観光・移住定住	産業を担う人材の育成・就労の支援	8.52
5	健康・福祉	高齢者福祉の充実	8.21

■今回調査の結果

- ・分野別にみると、要望度の高い基本施策（上位 10 項目）の中に、「健康・福祉」の基本施策が 3 つ（「地域医療体制の充実」、「高齢者福祉の充実」、「障がい児者福祉の充実」）入っており、健康・福祉に係る施策に対する要望が高くなっている。また、「防災・消防・安全安心」と「子育て・教育」に係る基本施策も 2 つずつ入っている。
- ・基本施策別にみると、特に要望度が高い基本施策、は「危機管理・防災対策の推進」（8.67）、「公共交通体系と道路網の整備」（8.62）、「地域医療体制の充実」（8.54）、「産業を担う人材の育成・就労の支援」（8.52）、「高齢者福祉の充実」（8.21）となっている。

■傾向

- 【性別】** ・それぞれの上位 4 項目までの基本施策は、順位の違いはあるが同じ施策となっている。
- 【年代別】** ・30 歳未満、60 歳代、70 歳以上は「公共交通体系と道路網の整備」が最も高くなっている。
・30 歳代、50 歳代は「危機管理・防災対策の推進」、40 歳代は「地域医療体制の充実」が最も高くなっている。
- 【居住地区別】** ・見付地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区、天竜・長野・於保地区、井通地区・青城地区、豊岡地区は、「公共交通体系と道路網の整備」が最も高くなっている。
・岩田・大藤・向笠地区、富岡・豊田東・池田地区は、「産業を担う人材の育成・就労の支援」が最も高くなっている。
・福田地区、竜洋地区は、「危機管理・防災対策の推進」が最も高くなっている。

(6) 31の基本施策の取組みのうち、今後、特に重要である・優先すべきもの

問5 問4の①から③の取組みのうち、今後、特に重要であると思うもの、優先すべきものはどれですか？5つまで選んで、優先度の高い順にその取組みの番号を記入してください。

「特に重要・優先すべき」基本施策は、「危機管理・防災対策の推進」

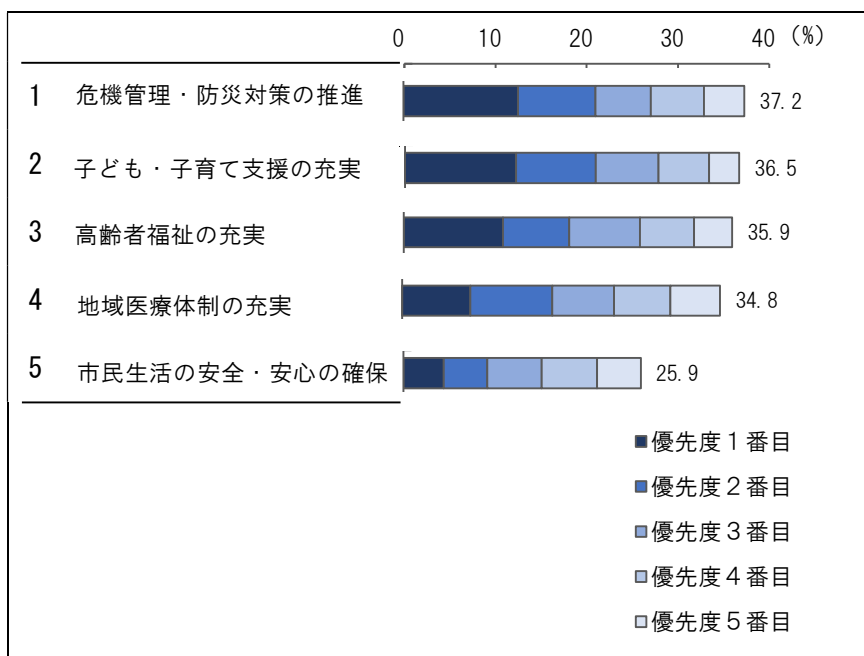
■傾向

【性別】男性では「子ども・子育て支援の充実」、女性では「高齢者福祉の充実」が最も多い

【年代別】複数の年代で最も多い基本施策は、
 ・「子ども・子育て支援の充実」
 ・「危機管理・防災対策の推進」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い基本施策は、
 ・「子ども・子育て支援の充実」 ・「高齢者福祉の充実」
 ・「地域医療体制の充実」 ・「危機管理・防災対策の推進」

■特に重要であるもの（抜粋）



■今回調査の結果

- ・「危機管理・防災対策の推進」(37.2%) が最も多く、次いで「子ども・子育て支援の充実」(36.5%)、「高齢者福祉の充実」(35.9%) となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・男性では「子ども・子育て支援の充実」(39.5%) が最も多く、次いで「危機管理・防災対策の推進」(36.9%)、「高齢者福祉の充実」(33.4%) となっている。
 - ・女性では「高齢者福祉の充実」(38.5%) と最も多く、次いで「危機管理・防災対策の推進」(37.4%)、「地域医療体制の充実」(37.2%) となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満、30歳代では「子ども・子育て支援の充実」が最も多い。
 - ・40歳代では「地域医療体制の充実」が最も多い。
 - ・50歳代、60歳代では「危機管理・防災対策の推進」が最も多い。
 - ・70歳以上では「高齢者福祉の充実」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・見付地区、天竜・長野・於保地区では「地域医療体制の充実」が最も多い。
 - ・中泉・今之浦地区、福田地区、井通地区・青城地区、豊岡地区では「危機管理・防災対策の推進」が最も多い。
 - ・岩田・大藤・向笠地区、竜洋地区、富岡・豊田東・池田地区では「子ども・子育て支援の充実」が最も多い。
 - ・西貝・御厨・南御厨・田原地区、天竜・長野・於保地区では「高齢者福祉の充実」が最も多い。

※天竜・長野・於保地区は、「地域医療体制の充実」「高齢者福祉の充実」が同率で最も多くなっている。

(7) 31の基本施策の取組みのうち、人口減少問題に対して特に重要だと思うもの

問6 日本全体が人口減少局面を迎えているなか、磐田市では、2060年（令和42年）に総人口13万6千人を確保することを目指しています。（※2020年3月末人口：16万9,673人）

問4の①から⑤の取組みのうち、人口減少問題に対して特に重要だと思うものはどれですか？5つまで選んで、その取組みの番号を記入してください。

人口減少問題に対して特に重要な基本施策は、

- ・「子ども・子育て支援の充実」
- ・「移住・定住の推進」
- ・「子ども・若者の健全育成」

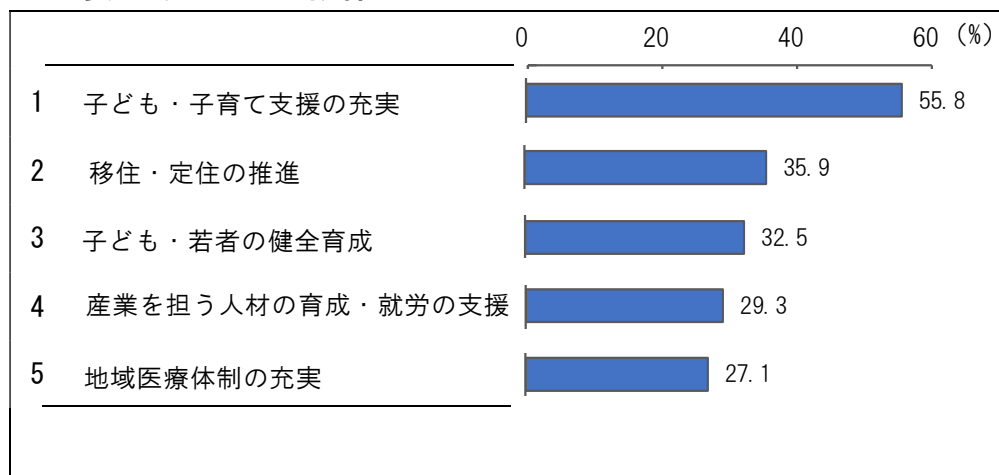
■傾向

【性別】性別による差はない

【年代別】すべての年代で「子ども・子育て支援の充実」が最も多い

【居住地区別】すべての居住地区で「子ども・子育て支援の充実」が最も多い

■特に重要であるもの（抜粋）



■今回調査の結果

- ・「子ども・子育て支援の充実」(55.8%)が最も多く、次いで「移住・定住の推進」(35.9%)、「子ども・若者の健全育成」(32.5%)、「産業を担う人材の育成・就労の支援」(29.3%)、「地域医療体制の充実」(27.1%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
 - ・男女とも上位5項目が同じ基本施策となっている。
 - ・男性では「子ども・子育て支援の充実」(58.1%)が最も多く、次いで「移住・定住の推進」(35.4%)、「子ども・若者の健全育成」(32.9%)となっている。
 - ・女性では「子ども・子育て支援の充実」(54.2%)と最も多く、次いで「移住・定住の推進」(36.7%)、「子ども・若者の健全育成」(32.7%)となっている。
- 【年代別】**
 - ・すべての年代で「子ども・子育て支援の充実」が最も多い。
 - ・30歳未満、30歳代では「子ども・若者の健全育成」が2番目に多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上では「移住・定住の推進」が2番目に多い。
- 【居住地区別】**
 - ・すべての居住地区で「子ども・子育て支援の充実」が最も多い。
 - ・すべての居住地区で「子ども・若者の健全育成」又は「移住・定住の推進」が2番目に多い。

2. まちへの想いについて

(1) 磐田市への愛着や親しみ

問7 あなたは磐田市に愛着や親しみを感じていますか？ <○印を1つ>

磐田市に愛着や親しみを『感じている』※人は8割以上
 ※『感じている』:「おおいに感じている」+「少し感じている」

■前回調査との比較

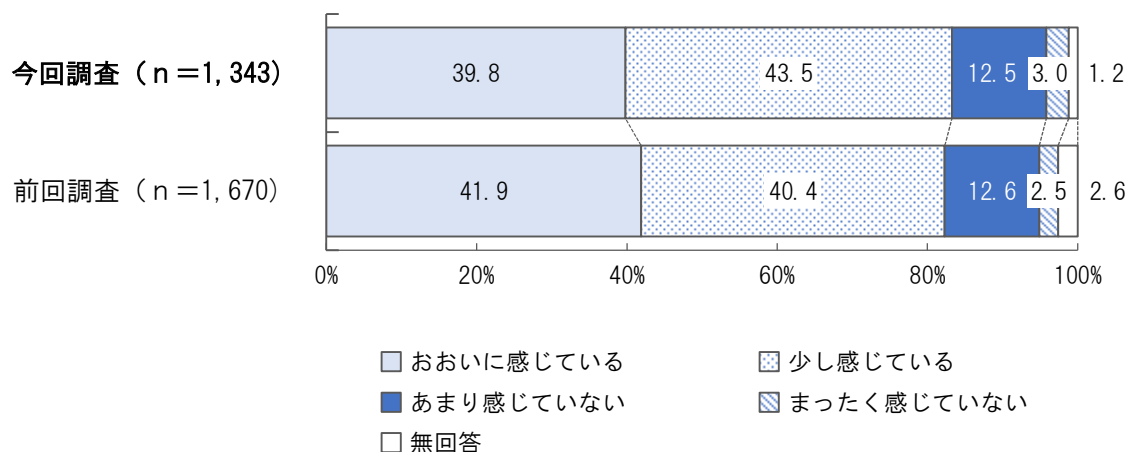
『感じている』が1.0ポイント増加している

■傾 向

【性 別】男女とも『感じている』が8割を超えている

【年 代 別】『感じている』は、60歳代が最も多く、30歳未満が最も低い

【居住地区別】すべての居住地区で『感じている』が7割を超えている



■今回調査の結果

- ・『感じている』（「おおいに感じている」+「少し感じている」）は83.3%、『感じていない』（「あまり感じていない」+「まったく感じていない」）は15.5%となっている。
- ・「少し感じている」（43.5%）が最も多く、次いで「おおいに感じている」（39.8%）、「あまり感じていない」（12.5%）となっている。

■前回調査との比較

- ・『感じている』が1.0ポイント増加し、『感じていない』が0.4ポイント増加している。

■傾 向

【性 別】

- ・『感じている』は、男性が81.5%、女性が84.7%となっている。
- ・「おおいに感じている」は、男性が36.3%、女性が43.0%となっている。

【年 代 別】

- ・『感じている』は、60歳代（86.3%）が最も多く、次いで50歳代（85.6%）、70歳以上（85.6%）となっている。
- ・『感じていない』は、30歳未満（32.5%）が最も多く、次いで40歳代（21.4%）となっている。

【居住地区別】

- ・すべての地区において、『感じている』は7割を超えている。
- ・『感じている』は、岩田・大藤・向笠地区（91.0%）が最も多く、次いで富岡・豊田東・池田地区（89.1%）、井通地区・青城地区（85.6%）となっている。

(2) 磐田市が最も誇れるもの、あるいは磐田市を最も象徴するもの

問8 磐田市が最も誇れるもの、あるいは磐田市を最も象徴するものは何だと思いますか？
 <○印を1つ>

最も誇れるもの・象徴するものは、

- ・「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」
- ・「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」
- ・「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」

■前回調査との比較

- ・「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」が増加している
- ・「メロンやお茶、シラスなどの特産品」「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」が減少している。

■傾向

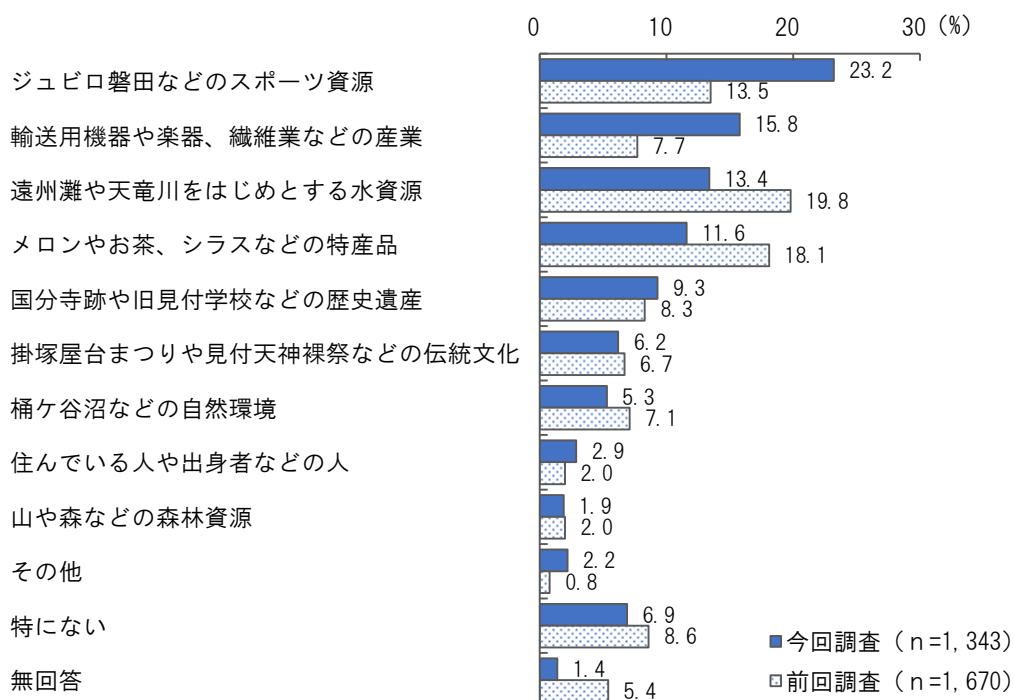
【性別】男女とも「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」が最も多い

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」
- ・「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」



■今回調査の結果

- ・「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」(23.2%) が最も多く、次いで「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」(15.8%)、「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」(13.4%) となっている。

■前回調査との比較

- ・前回調査で4位だった「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」が9.7ポイント増加し1位に、「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」が8.1ポイント増加し2位となっている。
- ・「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」は6.4ポイント、「メロンやお茶、シラスなどの特産品」は6.5ポイント減少している。

■傾 向

- 【性 別】**
- ・男女とも、「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」が最も多い。
 - ・男性では「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」(23.2%) が最も多く、次いで「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」(19.4%)、「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」(15.5%) となっている。
 - ・女性では「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」(23.6%) が最も多く、次いで「メロンやお茶、シラスなどの特産品」(14.6%)、「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」(12.4%) となっている。
- 【年 代 別】**
- ・30歳未満、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」が最も多い。
 - ・70歳以上では「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」(17.8%) が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・福田地区では「メロンやお茶、シラスなどの特産品」(30.6%) が最も多い。
 - ・竜洋地区では「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」(25.4%) が最も多い。
 - ・富岡・豊田東・池田地区、井通地区・青城地区では「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「ジュピロ磐田などのスポーツ資源」が最も多い。

(3) 磐田市での居住継続意向

問9 これからも磐田市に住み続けたいと思いますか？ <○印を1つ>

磐田市に『住み続けたい』※人は9割以上

※『住み続けたい』:「ずっと住み続けたい」+「当分の間、住み続けたい」

■前回調査との比較

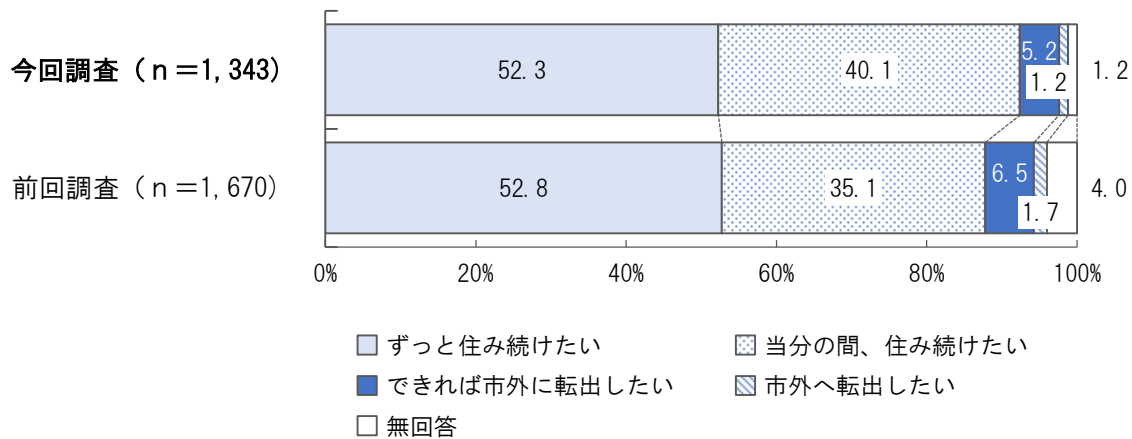
『住み続けたい』が4.5ポイント増加している

■傾向

【性別】男女とも『住み続けたい』が9割を超えている

【年代別】全ての年代において『住み続けたい』が8割を超えている

【居住地区別】全ての居住地区において『住み続けたい』が8割を超えている



■今回調査の結果

・『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」+「当分の間、住み続けたい」）は92.4%、『転出したい』（「できれば市外に転出したい」+「市外へ転出したい」）は6.4%となっている。

■前回調査との比較

・『住み続けたい』が4.5ポイント増加している。
 ・『転出したい』が1.8ポイント減少している。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では、『住み続けたい』は91.9%となっている。また、「ずっと住み続けたい」(49.0%)が最も多く、次いで「当分の間、住み続けたい」(42.9%)、「できれば市外に転出したい」(6.1%)となっている。
 - ・女性では『住み続けたい』は92.9%となっている。また、「ずっと住み続けたい」(55.1%)と最も多く、次いで「当分の間、住み続けたい」(37.8%)、「できれば市外に転出したい」(4.4%)となっている。
- 【年代別】
- ・全ての年代において、『住み続けたい』が8割を超えている。
 - ・『住み続けたい』は、70歳以上(94.8%)が最も高く、30歳未満(80.5%)が最も低くなっている。
- 【居住地区別】
- ・全ての居住地区において、『住み続けたい』が8割を超えている。
 - ・『住み続けたい』は富岡・豊田東・池田地区(95.0%)が最も高く、福田地区(87.9%)が最も低くなっている。

(4) 磐田市の暮らしやすさ

問 10 磐田市は暮らしやすいと思いますか？ <○印を1つ>

磐田市は『暮らしやすい』※と思う人は約9割

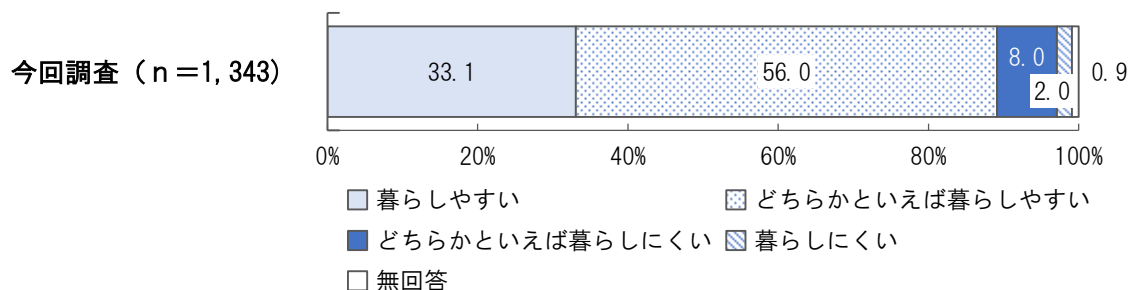
※『暮らしやすい』：(「暮らしやすい」+「どちらかといえば暮らしやすい」)

■傾 向

【性 別】 男女とも8割を超えている

【年 代 別】 全ての年代において『暮らしやすい』が8割を超えている

【居住地区別】 全ての居住地区において『暮らしやすい』が8割を超えている



■今回調査の結果

・『暮らしやすい』(「暮らしやすい」+「どちらかといえば暮らしやすい」)は89.1%、『暮らしにくい』(「どちらかといえば暮らしにくい」+「暮らしにくい」)は10.0%となっている。

■傾 向

- 【性 別】
- ・男性では『暮らしやすい』は88.1%、『暮らしにくい』は11.5%となっている。また、「どちらかといえば暮らしやすい」(57.1%)が最も多く、次いで「暮らしやすい」(31.0%)、「どちらかといえば暮らしにくい」(9.2%)となっている。
 - ・女性では『暮らしやすい』は90.2%、『暮らしにくい』は8.3%となっている。また、「どちらかといえば暮らしやすい」(55.1%)が最も多く、次いで「暮らしやすい」(35.1%)、「どちらかといえば暮らしにくい」(6.7%)となっている。
- 【年 代 別】
- ・全ての年代において、『暮らしやすい』が8割を超えている。
 - ・『暮らしやすい』は、30歳代(93.6%)が最も高く、30歳未満(83.1%)が最も低くなっている。
- 【居住地区別】
- ・全ての居住地区において、『暮らしやすい』が8割を超えている。
 - ・『暮らしやすい』は、中泉・今之浦地区(92.0%)が最も高く、豊岡地区(85.0%)が最も低くなっている。

このページは白紙です

(5) 磐田市の暮らしやすいところ

問 11 あなたが思う、磐田市の「暮らしやすい」「暮らしにくい」ところはどこですか？
＜「暮らしやすいところ」「暮らしにくいところ」それぞれに○印を3つまで＞

磐田市の暮らしやすいところは、

- ・「災害が少ない」
- ・「住まいの環境が良好である」
- ・「公害が少ない」

■前回調査との比較

- ・「災害が少ない」「住まいの環境が良好である」「医療サービスが充実している」が増加している。
- ・「スポーツをする場が豊富である」「近隣の人々との絆が強い」「子育ての環境が整っている」が減少している

■傾 向

【性 別】大きな差はない

【年 代 別】複数の年代で最も多い項目は

- ・「住まいの環境が良好である」
- ・「災害が少ない」

【居住地区別】すべての居住地区で最も多い項目は

- ・「災害が少ない」

■今回調査の結果

- ・「災害が少ない」(51.7%) が最も多く、次いで「住まいの環境が良好である」(37.2%)、「公害が少ない」(30.0%) となっている。

■前回調査との比較

- ・「災害が少ない」が 15.6 ポイント、「住まいの環境が良好である」が 13.4 ポイント、「医療サービスが充実している」が 5.0 ポイント増加している。
- ・「スポーツをする場が豊富である」が 3.9 ポイント、「近隣の人々との絆が強い」が 2.4 ポイント、「子育て環境が整っている」が 1.9 ポイント減少している。

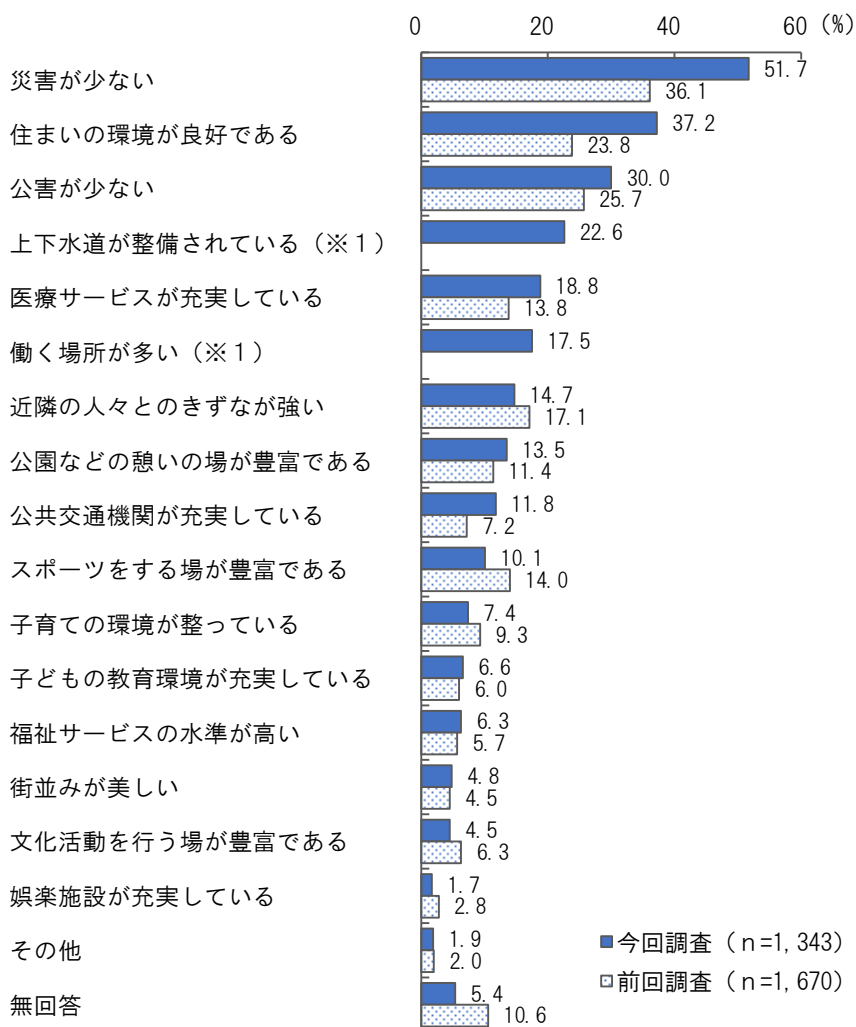
■傾 向

- 【性 別】
- ・男女とも上位 4 項目まで同じ項目となっている。
 - ・男性では「災害が少ない」(51.6%) が最も多く、次いで「住まいの環境が良好である」(36.9%)、「公害が少ない」(28.0%) となっている。
 - ・女性では「災害が少ない」(52.6%) が最も多く、次いで「住まいの環境が良好である」(38.1%)、「公害が少ない」(31.9%) となっている。

- 【年 代 別】
- ・30 歳未満、30 歳代では「住まいの環境が良好である」が最も多い。
 - ・40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「災害が少ない」が最も多い。

- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「災害が少ない」が最も多い。

■暮らしやすいところ



※1：今回調査のみの選択肢である。

<参考>

前回調査の選択肢「自然環境がよい」(40.9%)、「買い物など日常生活が便利である」(40.7%)、「道路事情がよい」(17.1%)は、今回調査にはない。

(6) 磐田市の暮らしにくいところ

問 11 あなたが思う、磐田市の「暮らしやすい」「暮らしにくい」ところはどこですか？
＜「暮らしやすいところ」「暮らしにくいところ」それぞれに○印を3つまで＞

磐田市の暮らしにくいところは、

- ・「公共交通機関が不十分である」
- ・「娯楽施設が不十分である」
- ・「公園などの憩いの場が乏しい」

■前回調査との比較

- ・「公共交通機関が不十分である」「娯楽施設が不十分である」が増加している
- ・「医療サービスが不十分である」「スポーツをする場が乏しい」が減少している

■傾 向

【性 別】男女とも最も多い項目は

- ・「公共交通機関が不十分である」

【年 代 別】すべての年代で最も多い項目は

- ・「公共交通機関が不十分である」

【居住地区別】すべての居住地区で最も多い項目は

- ・「公共交通機関が不十分である」

■今回調査の結果

- ・「公共交通機関が不十分である」(52.2%)が最も多く、次いで「娯楽施設が不十分である」(28.7%)、「公園などの憩いの場が乏しい」(20.6%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「公共交通機関が不十分である」が8.6ポイント、「娯楽施設が不十分である」が3.8ポイント、「文化活動を行う場が乏しい」が3.5ポイント増加している。
- ・「医療サービスが十分である」が6.2ポイント、「スポーツをする場が乏しい」が3.4ポイント、「公園などの憩いの場が乏しい」が3.2ポイント減少している。

■傾 向

- 【性 別】
- ・男性では「公共交通機関が不十分である」(49.3%)が最も多く、次いで「娯楽施設が不十分である」(31.8%)、「福祉サービスの水準が低い」(18.5%)となっている。
 - ・女性では「公共交通機関が不十分である」(54.6%)が最も多く、次いで「娯楽施設が不十分である」(26.5%)、「公園などの憩いの場が乏しい」(24.3%)となっている。

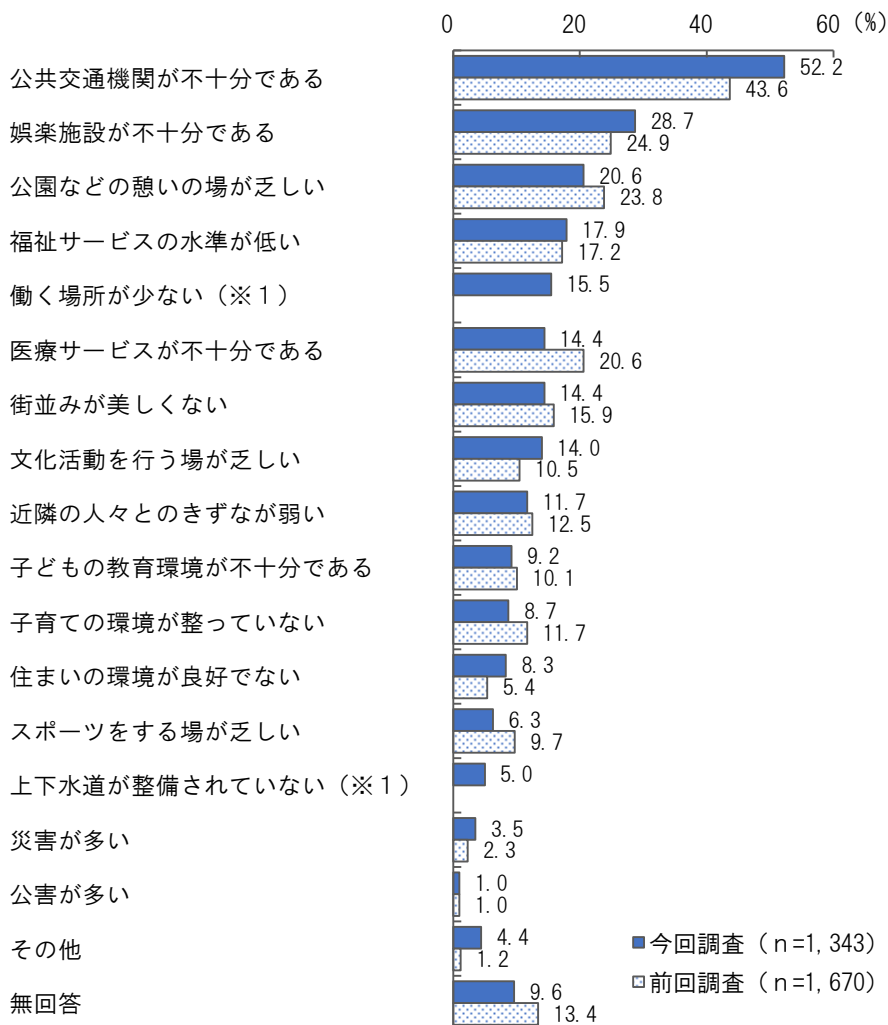
【年 代 別】

- ・すべての年代で「公共交通機関が不十分である」が最も多い。

【居住地区別】

- ・すべての居住地区で「公共交通機関が不十分である」が最も多い。

■暮らしにくいところ



※1：今回調査のみの選択肢である。

<参考>

前回調査の選択肢「買い物など日常生活が不便である」(17.8%)、「道路事情が悪い」(16.5%)、「自然環境が悪い」(2.4%)は、今回調査にはない。

3. 産業（商業・工業・農林水産業）について

（1）今後、市内の産業をさらに活性化するために、特に優先すべきもの

問 12 今後、市内の産業をさらに活性化するために、特に優先すべきものは何だと思えますか？ <○印を2つまで>

市内の産業をさらに活性化するために優先すべきものは、

- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」
- ・「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」

■前回調査との比較

- ・「新規創業を目指す意欲ある人への支援」が5.4ポイント増加している
- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が3.7ポイント減少している

■傾 向

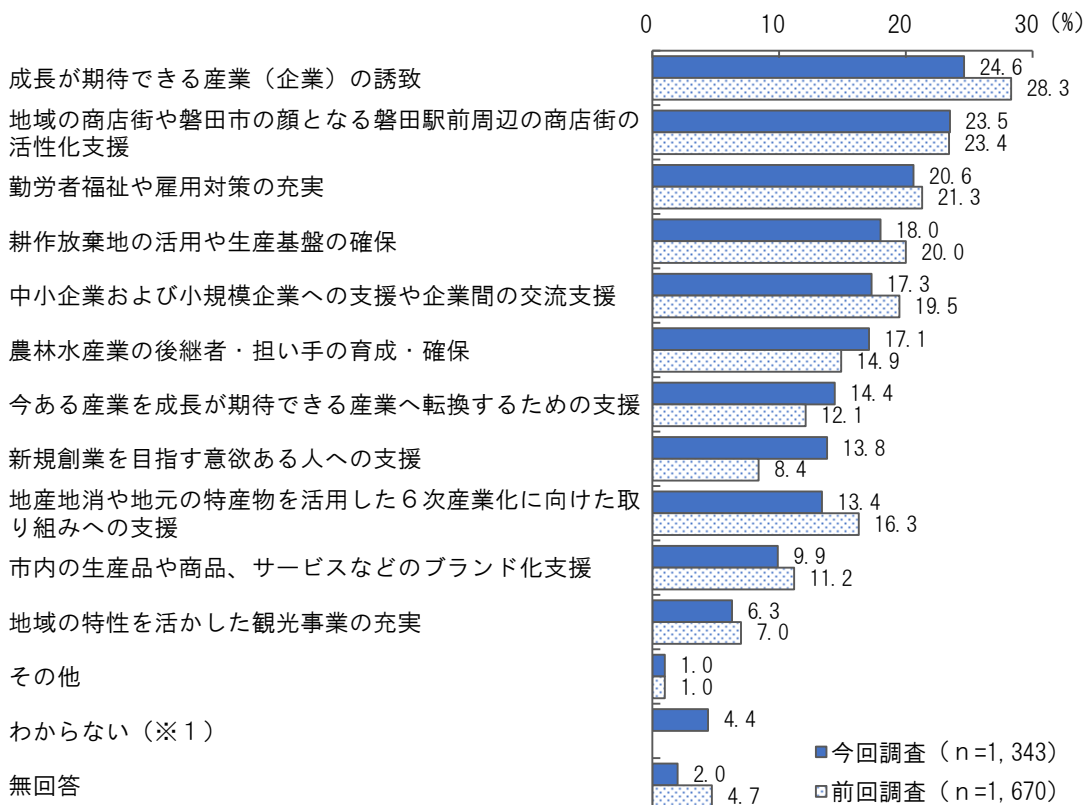
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も優先すべきものは、

- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」

【居住地区別】複数の居住地区で最も優先すべきものは、

- ・「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」
- ・「耕作放棄地の活用や生産基盤の確保」
- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」（24.6%）が最も多く、次いで「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」（23.5%）、「勤労者福祉や雇用対策の充実」（20.6%）となっている。

■前回調査との比較

- ・「新規創業を目指す意欲ある人への支援」が 5.4 ポイント、「今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援」が 2.3 ポイント、「農林水産業の後継者・担い手の育成・確保」が 2.2 ポイント増加している。
- ・「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が 3.7 ポイント、「地産地消や地元の特産物を活用した 6 次産業化に向けた取り組みへの支援」が 2.9 ポイント、「中小企業及び小規模企業への支援や企業間の交流支援」が 2.2 ポイント減少している。

■傾向

【性別】

- ・順位の違いはあるが、上位 3 項目は男女とも同じ項目となっている。
- ・男性では「成長が期待できる産業（企業）の誘致」（29.3%）が最も多く、次いで「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」（22.4%）、「勤労者福祉や雇用対策の充実」（21.1%）となっている。
- ・女性では「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」（24.9%）が最も多く、次いで「成長が期待できる産業（企業）の誘致」（20.9%）、「勤労者福祉や雇用対策の充実」（20.6%）となっている。

【年代別】

- ・30 歳未満、60 歳代、70 歳以上では「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が最も多い。
- ・30 歳代では「勤労者福祉や雇用対策の充実」が最も多い。
- ・40 歳代では「中小企業および小規模企業への支援や企業間の交流支援」が最も多い。
- ・50 歳代では「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」が最も多い。

【居住地区別】

- ・見付地区、中泉・今之浦地区、天竜・長野・於保地区では「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」が最も多い。
- ・岩田・大藤・向笠地区、井通地区・青城地区、豊岡地区では「耕作放棄地の活用や生産基盤の確保」が最も多い。
- ・西貝・御厨・南御厨・田原地区、福田地区、竜洋地区、井通地区・青城地区では「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が最も多い。
- ・富岡・豊田東・池田地区では「農林水産業の後継者・担い手の育成・確保」が最も多い。

※井通地区・青城地区は、「耕作放棄地の活用や生産基盤の確保」「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が同率で最も多くなっている。

4. コミュニティについて

(1) 参加している地域活動

問 13 あなたはどのような地域活動に参加していますか？

<該当するものすべてに○印>

何らかの地域活動に参加している人は約 6 割※

※「参加していない」及び「無回答」を除いた割合

■前回調査との比較

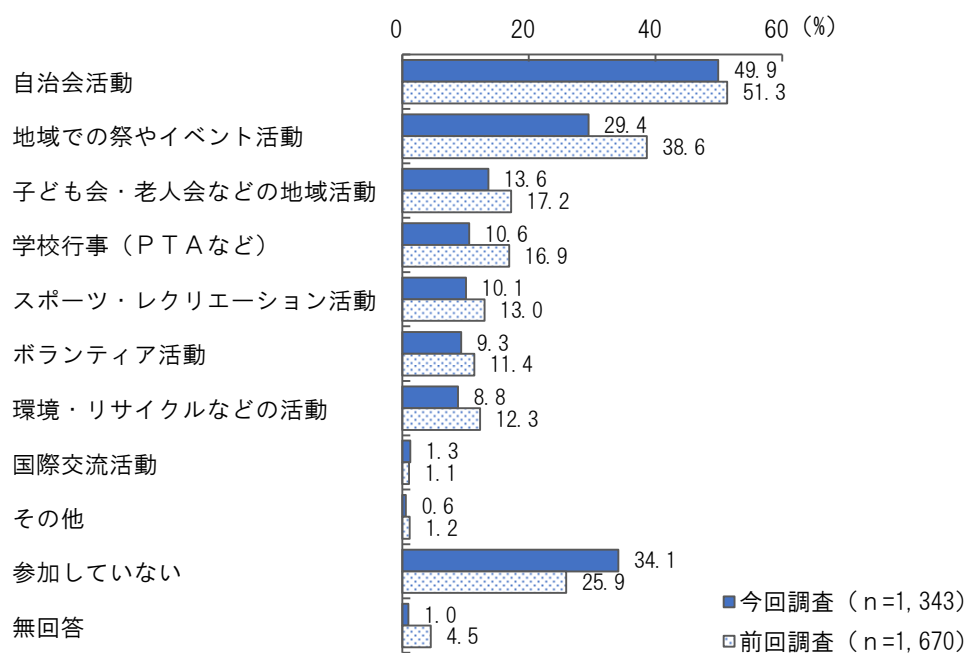
「参加していない」人が 8.2 ポイント増加している

■傾 向

【性 別】性別による差はない

【年 代 別】「参加している」が最も高い年代は 60 歳代

【居住地区別】すべての居住地区で最も多い活動内容は「自治会活動」



■今回調査の結果

- ・「地域活動に参加していない」が34.1%となっており、無回答（1.0%）を除いた64.9%の人が何らかの地域活動に参加している
- ・活動内容は、「自治会活動」（49.9%）が最も多く、次いで「地域での祭やイベント活動」（29.4%）、「子ども会・老人会などの地域活動」（13.6%）となっている。

■前回調査との比較

- ・「参加していない」が8.2ポイント増加している。
- ・すべての項目で参加している割合が減少している。
- ・「地域での祭やイベント活動」が9.2ポイント、「学校行事（PTAなど）」が6.3ポイント、「子ども会・老人会などの地域活動」が3.6ポイント減少している。

■傾向

- 【性別】**
 - ・男女とも6割を超える人が何らかの地域活動に参加している。
 - ・男性では「自治会活動」（53.1%）が最も多く、次いで「地域での祭やイベント活動」（30.2%）「スポーツ・レクリエーション活動」（9.9%）となっている。
 - ・女性では「自治会活動」（47.3%）が最も多く、次いで「地域での祭やイベント活動」（29.1%）、「子ども会・老人会などの地域活動」（18.6%）となっている。
- 【年代別】**
 - ・「参加していない」は30歳未満（68.8%）が最も多く、60歳代（24.2%）が最も少ない。
 - ・活動内容は、30歳未満、30歳代では「地域での祭やイベント活動」が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「自治会活動」が最も多い。
- 【居住地区別】**
 - ・「参加していない」は、中泉・今之浦地区（42.0%）が最も多く、豊岡地区（22.5%）が最も少ない。
 - ・活動内容は、すべての居住地区で「自治会活動」が最も多い。

(2) 地域活動に参加する理由

(問13で何らかの地域活動に参加していると回答した方のみ)

問14 あなたが、地域活動に参加する理由は何ですか？

<該当するものすべてに○印>

地域活動に参加する理由は、

- ・「参加者同士の交流ができるから」
- ・「地域の様子を知ることができるから」
- ・「順番がまわってきたから」

■傾向

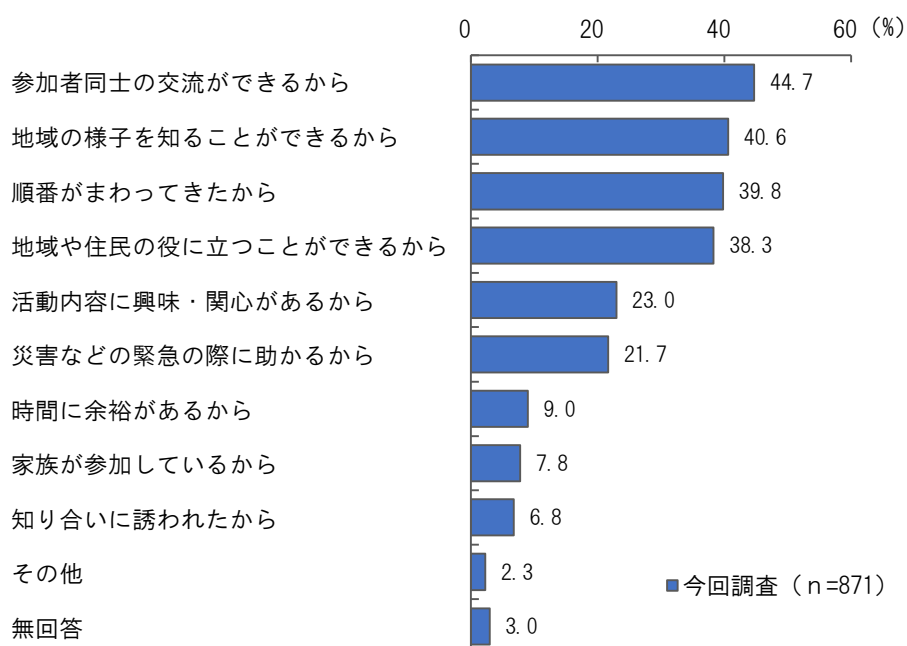
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最多となっている理由は

- ・「順番がまわってきたから」

【居住地区別】複数の居住地区で最多となっている理由は

- ・「参加者同士の交流ができるから」
- ・「順番がまわってきたから」



■今回調査の結果

- ・「参加者同士の交流ができるから」(44.7%)が最も多く、次いで「地域の様子を知ることができるから」(40.6%)、「順番がまわってきたから」(39.8%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・それぞれの上位4項目までの理由は、順位の違いはあるが同じ理由。
 - ・男性では「地域や住民の役に立つことができるから」(44.6%)が最も多く、次いで「参加者同士の交流ができるから」(41.7%)、「順番がまわってきたから」(40.4%)となっている。
 - ・女性では「参加者同士の交流ができるから」(46.9%)が最も多く、次いで「地域の様子を知ることができるから」(43.6%)、「順番がまわってきたから」(39.8%)となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満では「活動内容に興味・関心があるから」(41.7%)が最も多い。
 - ・30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「順番がまわってきたから」が最も多い。
 - ・70歳以上では「参加者同士の交流ができるから」(55.1%)が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・見付地区、天竜・長野・於保地区、竜洋地区では「順番がまわってきたから」が最も多い。
 - ・岩田・大藤・向笠地区では「地域や住民の役に立つことができるから」「参加者同士の交流ができるから」(それぞれ48.2%)が最も多い。
 - ・豊岡地区では「地域の様子を知ることができるから」(50.8%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「参加者同士の交流ができるから」が最も多い。

(3) 地域活動に参加していない主な理由

(問13で地域活動に「参加していない」と回答した方のみ)

問15 あなたが、地域活動に参加していない主な理由は何ですか？ <○印を1つ>

地域活動に参加していない理由は、

- ・「仕事をしているため参加する時間がないから」
- ・「人間関係が面倒だから」
- ・「一人では参加しづらいから」

■傾向

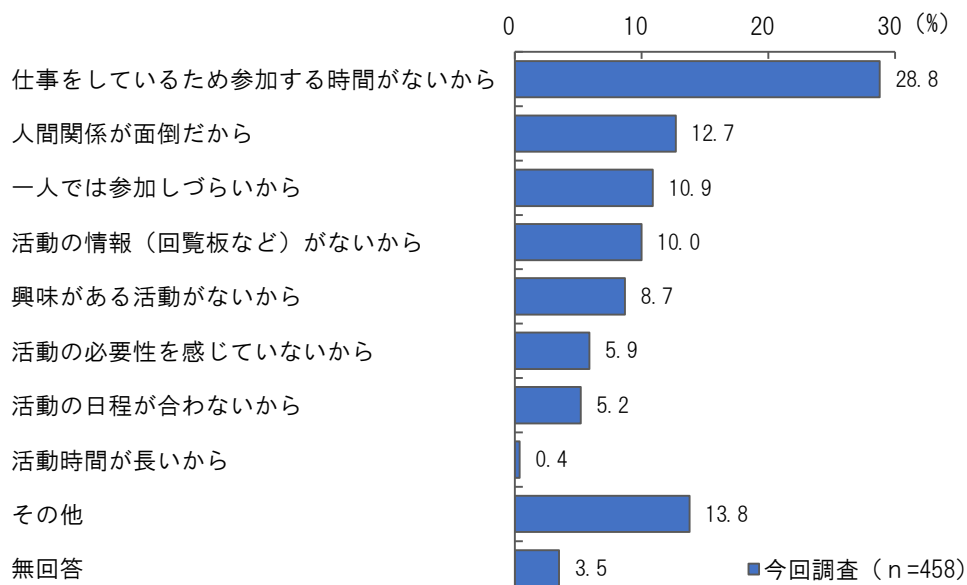
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い理由は、

- ・「仕事をしているため参加する時間がないから」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い理由は、

- ・「仕事をしているため参加する時間がないから」



■今回調査の結果

- ・「仕事をしているため参加する時間がないから」(28.8%)が最も多く、次いで「人間関係が面倒だから」(12.7%)、「一人では参加しづらいから」(10.9%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・上位5項目は、男女とも同じ理由となっている。
 - ・男性では「仕事をしているため参加する時間がないから」(25.2%)が最も多く、次いで「人間関係が面倒だから」(14.2%)、「一人では参加しづらいから」(12.4%)となっている。
 - ・女性では「仕事をしているため参加する時間がないから」(31.6%)が最も多く、次いで「人間関係が面倒だから」(11.6%)、「活動の情報(回覧板など)がないから」「一人では参加しづらいから」(9.8%)となっている。
- 【年代別】**
- ・70歳以上では「人間関係が面倒だから」(15.0%)が最も多い。
 - ・それ以外の年代では「仕事をしているため参加する時間がないから」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・西貝・御厨・南御厨・田原地区では「一人では参加しづらいから」(22.2%)が最も多い。
 - ・天竜・長野・於保地区では「活動の情報(回覧板など)がないから」「仕事をしているため参加する時間がないから」(それぞれ19.4%)が最も多い。
 - ・豊岡地区では「活動の日程が合わないから」「人間関係が面倒だから」「仕事をしているため参加する時間がないから」(それぞれ16.7%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「仕事をしているため参加する時間がないから」が最も多い。

(4) 地域活動をより活発にするための支援策として、特に優先すべきもの

問 16 地域活動をより活発にするための支援策として、特に優先すべきものは何だと思えますか？ <○印を2つまで>

地域活動をより活発にするための支援策は、

- ・「活動機会の情報提供」
- ・「活動に対する補助金・助成金」

■前回調査との比較

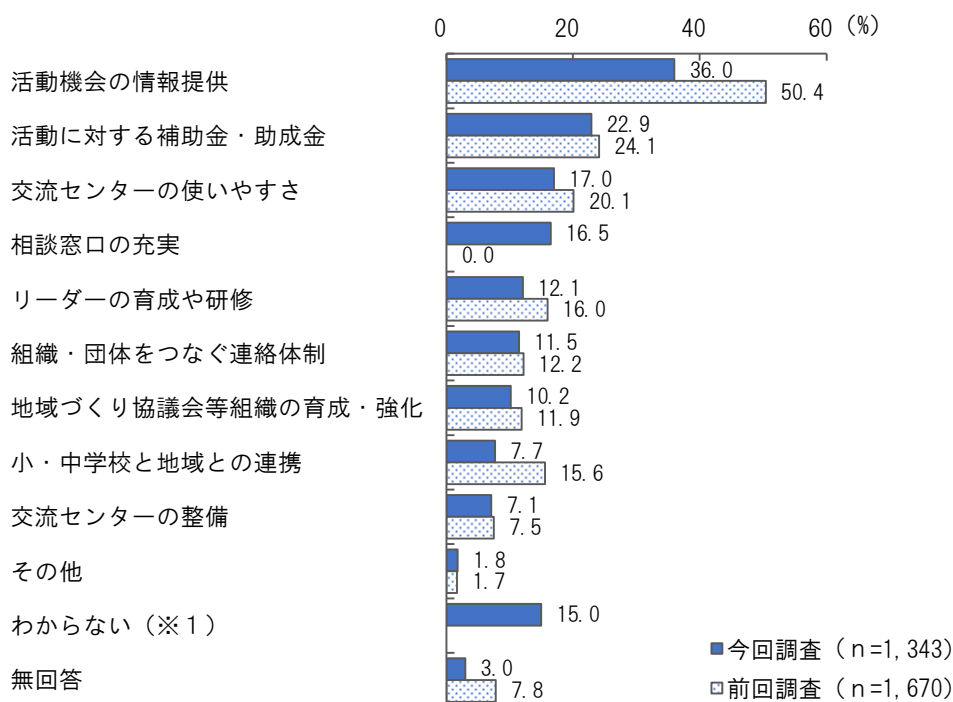
- ・「相談窓口の充実」が増加している
- ・「活動機会の情報提供」「小・中学校と地域との連携」が減少している

■傾 向

【性 別】大きな差はない

【年 代 別】すべての年代で「活動機会の情報提供」が最も多い

【居住地区別】複数の居住地区で「活動機会の情報提供」が最も多い



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「活動機会の情報提供」(36.0%)が最も多く、次いで「活動に対する補助金・助成金」(22.9%)、「交流センターの使いやすさ」(17.0%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「相談窓口の充実」が16.5ポイント増加している。
- ・「活動機会の情報提供」が14.4ポイント、「小・中学校と地域との連携」が7.9ポイント、「リーダーの育成や研修」が3.9ポイント減少している。

■傾向

- 【性別】**
- ・順位の差はあるが、上位4項目は男女とも同じ支援策となっている。
 - ・男性では「活動機会の情報提供」(34.3%)が最も多く、次いで「活動に対する補助金・助成金」(25.8%)、「相談窓口の充実」(16.7%)となっている。
 - ・女性では「活動機会の情報提供」(38.2%)が最も多く、次いで「活動に対する補助金・助成金」(20.6%)、「交流センターの使いやすさ」(19.0%)となっている。
- 【年代別】**
- ・すべての年代で「活動機会の情報提供」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・富岡・豊田東・池田地区では「活動に対する補助金・助成金」(28.7%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「活動機会の情報提供」が最も多い。

5. 福祉について

(1) 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に優先すべきもの

問 17 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に優先すべきものは何だと思えますか？ <○印を2つまで>

住み慣れた地域で安心して暮らしていくために優先すべきものは、

- ・「公共交通など移動手段の確保」
- ・「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」

■前回調査との比較

- ・「公共交通など移動手段の確保」「身近なところでの相談窓口の充実」が増加している
- ・「保育サービスなどの子育て支援の充実」「高齢者の生きがいづくり」が減少している

■傾 向

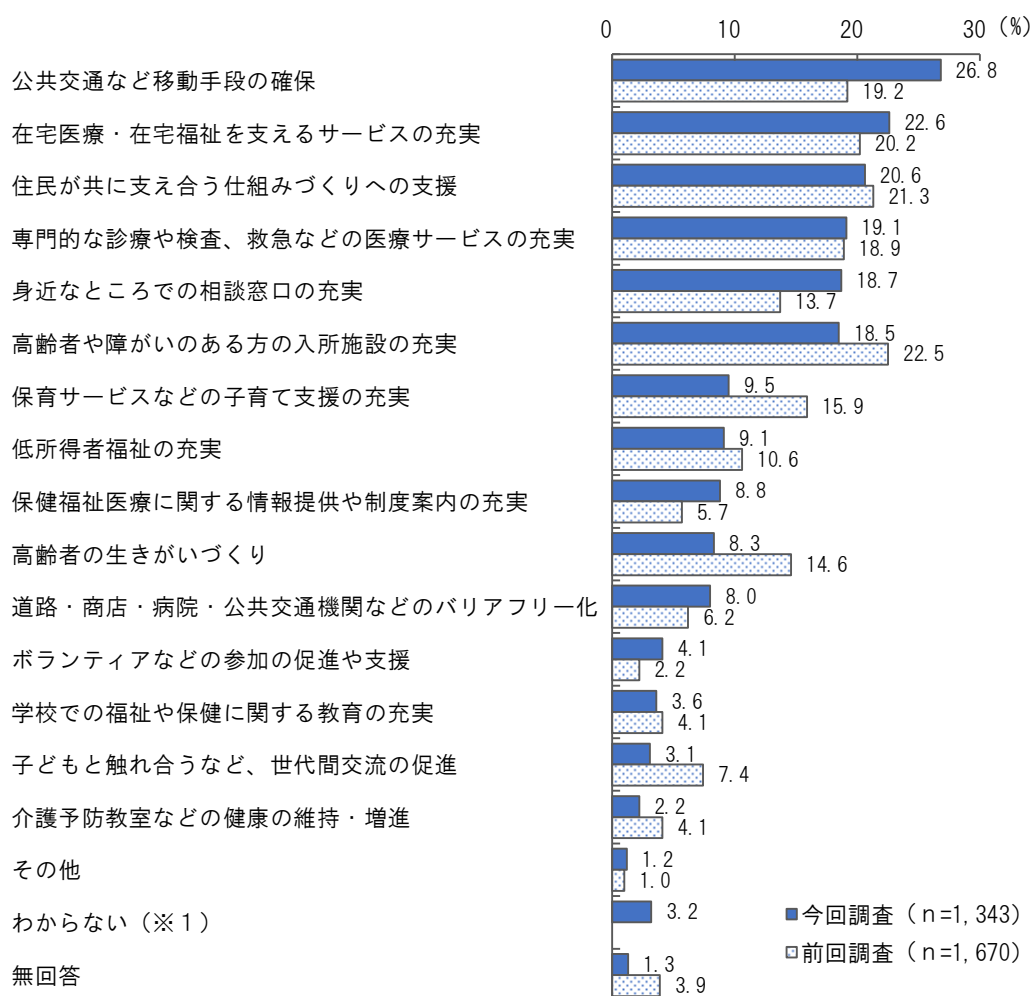
【性 別】大きな差はない

【年 代 別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「公共交通など移動手段の確保」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「公共交通など移動手段の確保」
- ・「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「公共交通など移動手段の確保」(26.8%)が最も多く、次いで「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」(22.6%)、「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」(20.6%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「公共交通など移動手段の確保」が7.6ポイント、「身近なところでの相談窓口の充実」が5.0ポイント増加している。
- ・「保育サービスなどの子育て支援の充実」が6.4ポイント「高齢者の生きがいづくり」が6.3ポイント減少している。

■傾向

【性別】

- ・上位2項目は、男女とも同じ項目となっている。
- ・男性では「公共交通など移動手段の確保」(23.9%)が最も多く、次いで「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」(22.2%)、「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」(21.8%)となっている。
- ・女性では「公共交通など移動手段の確保」(29.6%)が最も多く、次いで「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」(22.8%)、「高齢者や障がいのある方の入所施設の充実」(20.2%)となっている。

【年代別】

- ・30歳未満、40歳代、50歳代、70歳以上では「公共交通など移動手段の確保」が最も多い。
- ・30歳代では「専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実」(30.4%)が最も多い。
- ・60歳代では「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」(28.1%)が最も多い。

【居住地区別】

- ・中泉・今之浦地区、竜洋地区、富岡・豊田東・池田地区では「在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実」が最も多い。
- ・岩田・大藤・向笠地区では「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」「公共交通など移動手段の確保」(それぞれ26.9%)が最も多い。
- ・それ以外の居住地区では「公共交通など移動手段の確保」が最も多い。

6. 子育て・教育について

(1) 安心して子どもを産み育てるために、特に優先すべきもの

問 18 安心して子どもを産み育てるために、特に優先すべきものは何だと思いますか？
 <○印を2つまで>

安心して子どもを産み育てるために優先すべきものは、

- ・「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」

■前回調査との比較

- ・「子育てに関する情報提供や相談体制の充実」が増加している
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」「公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備」「産科・小児科医療の充実」が減少している

■傾 向

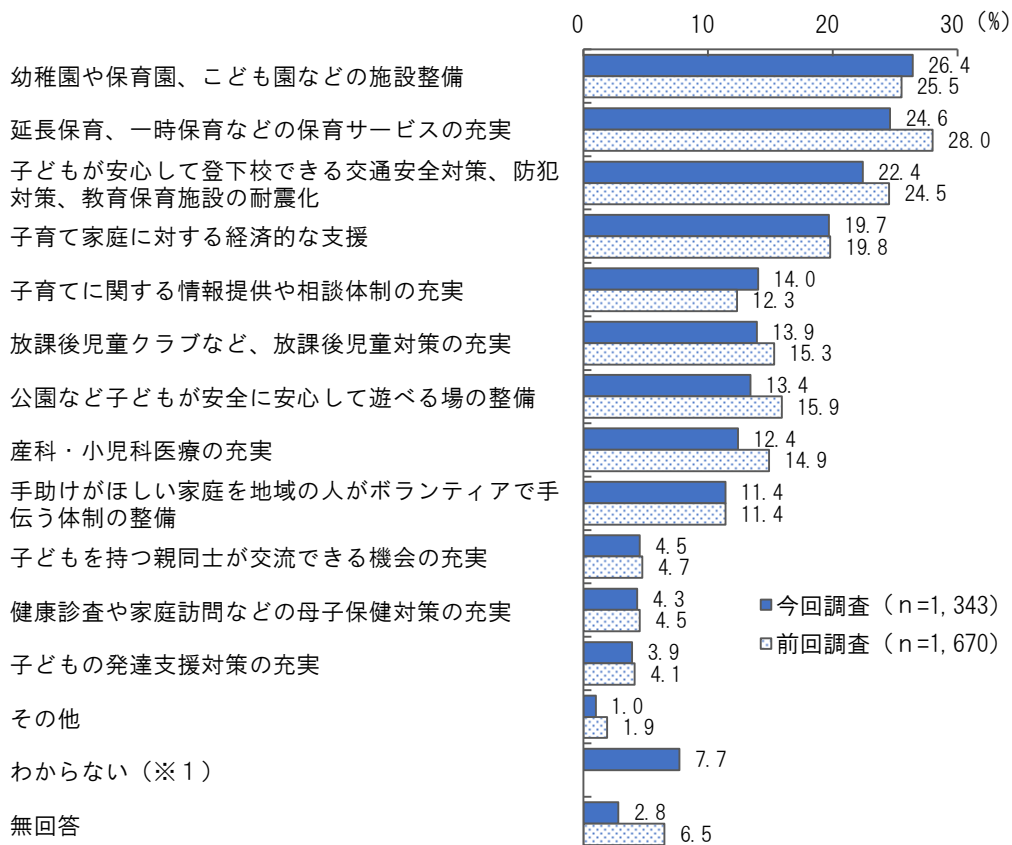
【性 別】 順位の違いはあるが、上位4項目は同じ項目

【年 代 別】 複数の年代で最も多い項目は、

- ・「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」

【居住地区別】 複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」(26.4%)が最も多く、次いで「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」(24.6%)、「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」(22.4%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「子育てに関する情報提供や相談体制の充実」が1.7ポイント増加している。
- ・「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が3.4ポイント、「公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備」「産科・小児科医療の充実」がそれぞれ2.5ポイント減少している。

■傾 向

- 【性 別】**
- ・男性では「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」(32.6%)が最も多く、次いで「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」(25.4%)、「子育て家庭に対する経済的な支援」(23.3%)となっている。
 - ・女性では「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」(24.3%)が最も多く、次いで「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」(23.0%)、「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」(21.2%)となっている。
- 【年 代 別】**
- ・30歳未満、60歳代では「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」が最も多い。
 - ・30歳代では「子育て家庭に対する経済的な支援」(36.0%)が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代では「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が最も多い。
 - ・70歳以上では「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」(25.6%)が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・岩田・大藤・向笠地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区、竜洋地区では「延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が最も多い。
 - ・天竜・長野・於保地区では「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」(28.7%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「幼稚園や保育園、こども園などの施設整備」が最も多い。

(2) 子どもたちに対する教育を充実させるために、特に優先すべきもの

問 19 子どもたちに対する教育を充実させるために、特に優先すべきものは何だと思いますか？ <○印を2つまで>

子どもたちに対する教育を充実させるために優先すべきものは、

- ・「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」
- ・「健やかでたくましい心身の育成」

■前回調査との比較

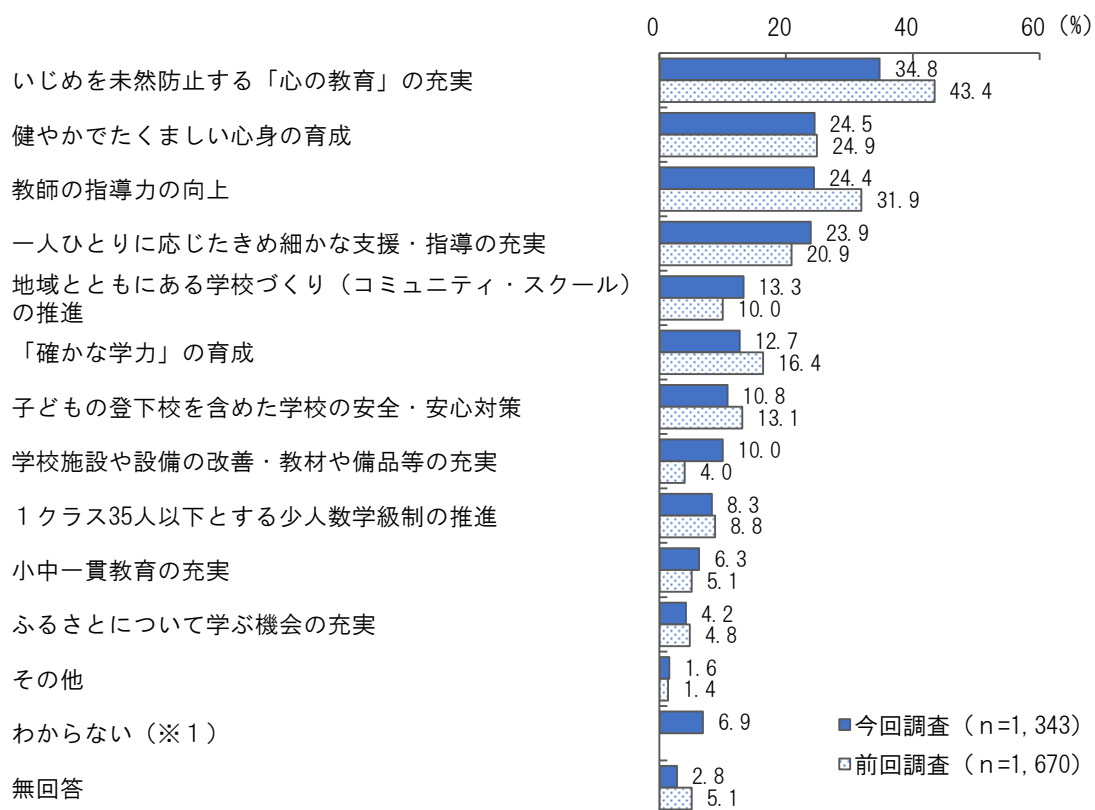
- ・「学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実」が増加している
- ・「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が減少している

■傾 向

【性 別】男女とも「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い

【年 代 別】すべての年代で「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い

【居住地区別】すべての居住地区で「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」(34.8%)が最も多く、次いで「健やかでたくましい心身の育成」(24.5%)、「教師の指導力の向上」(24.4%)となっている。

■前回調査との比較

- ・「学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実」が6.0ポイント、「地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)の推進」が3.3ポイント、「一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実」が3.0ポイント増加している。
- ・「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が8.6ポイント、「教師の指導力の向上」が7.5ポイント、「『確かな学力』の育成」が3.7ポイント減少している。

■傾 向

- 【性 別】**
- ・男性では「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」(34.3%)が最も多く、次いで「教師の指導力の向上」(25.2%)、「一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実」(22.7%)となっている。
 - ・女性では「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」(35.6%)が最も多く、次いで「健やかでたくましい心身の育成」(28.0%)、「一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実」(25.5%)となっている。
- 【年 代 別】**
- ・すべての年代で「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・すべての居住地区で「いじめを未然防止する『心の教育』の充実」が最も多い。

7. 広報・広聴について

(1) 市からの情報の入手方法

問 20 磐田市では、市の行事や行政サービスなどをお知らせするために、様々な広報活動を行っています。あなたは、普段、市からの情報を何を通じて得ていますか？

＜該当するものすべてに○印＞

市からの情報を得る手段は、「広報いわた」が8割以上

■前回調査との比較

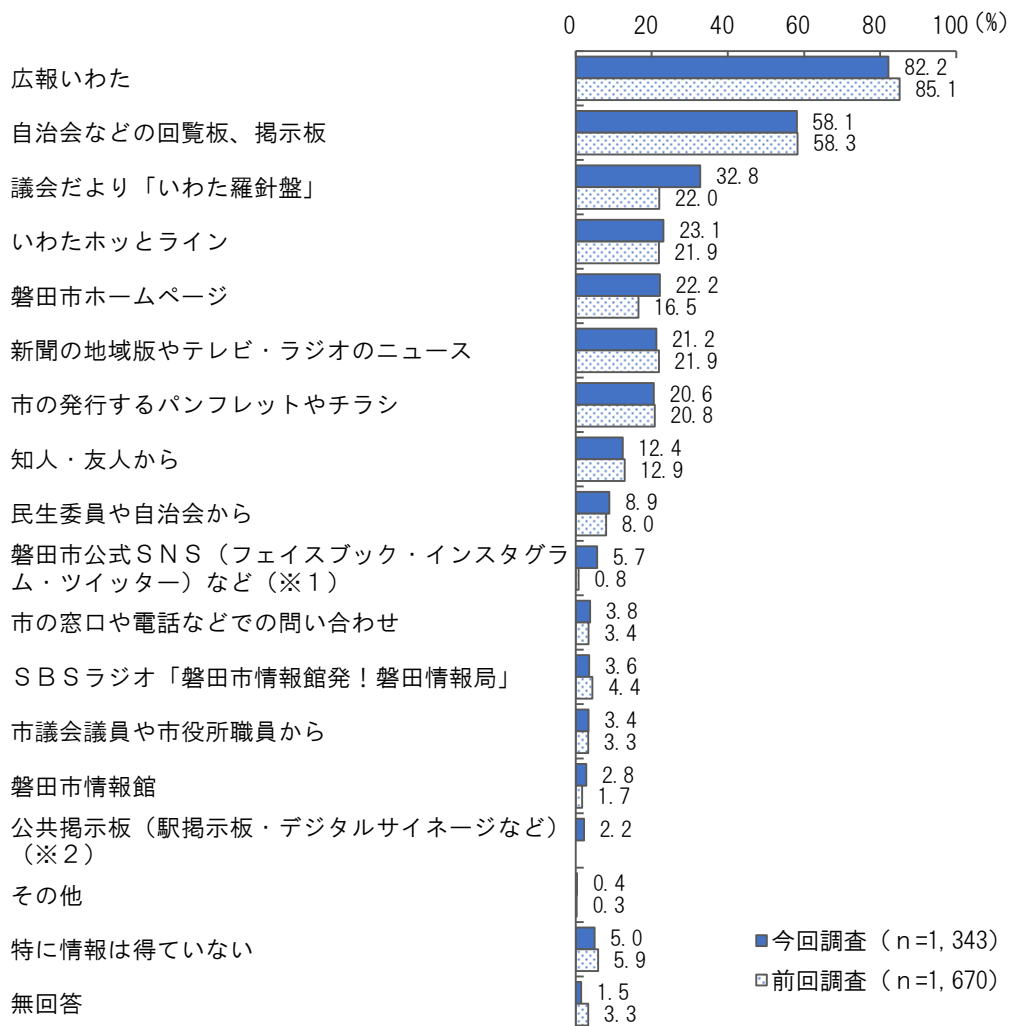
「議会だより『いわた羅針盤』」「磐田市ホームページ」「磐田市公式SNS（フェイスブック・インスタグラム・ツイッター）など」が増加している

■傾 向

【性 別】大きな差はない

【年 代 別】すべての年代で「広報いわた」最も多い

【居住地区別】すべての居住地区で「広報いわた」最も多い



※1：前回調査の選択肢は、「磐田市広報担当ツイッター」であった。

※2：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「広報いわた」(82.2%) が最も多く、次いで「自治会などの回覧板、掲示板」(58.1%)、「議会だより『いわた羅針盤』」(32.8%) となっている。

■前回調査との比較

- ・「議会だより『いわた羅針盤』」が 10.8 ポイント、「磐田市ホームページ」が 5.7 ポイント、「磐田市公式 SNS (フェイスブック・インスタグラム・ツイッター) など」が 4.9 ポイント増加している。

■傾 向

- 【性 別】**
- ・上位 3 項目は、男女とも同じ項目となっている。
 - ・男性では「広報いわた」(75.6%) が最も多く、次いで「自治会などの回覧板、掲示板」(52.6%)、「議会だより『いわた羅針盤』」(29.4%) となっている。
 - ・女性では「広報いわた」(88.9%) が最も多く、次いで「自治会などの回覧板、掲示板」(63.8%)、「議会だより『いわた羅針盤』」(36.7%) となっている。
- 【年 代 別】**
- ・すべての年代で「広報いわた」が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・すべての居住地区で「広報いわた」が最も多い。

(2) 磐田市の魅力を全国に発信していくために、特に有効なこと

問 21 磐田市の魅力を全国に発信していくために、どのようなことが特に有効だと思いますか？ <○印を2つまで>

磐田市の魅力を全国に発信していくために有効なことは、

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」
- ・「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」

■前回調査との比較

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」が増加している
- ・「イメージキャラクター『しっぺい』を活用したPR活動の展開」「集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開」が減少している

■傾向

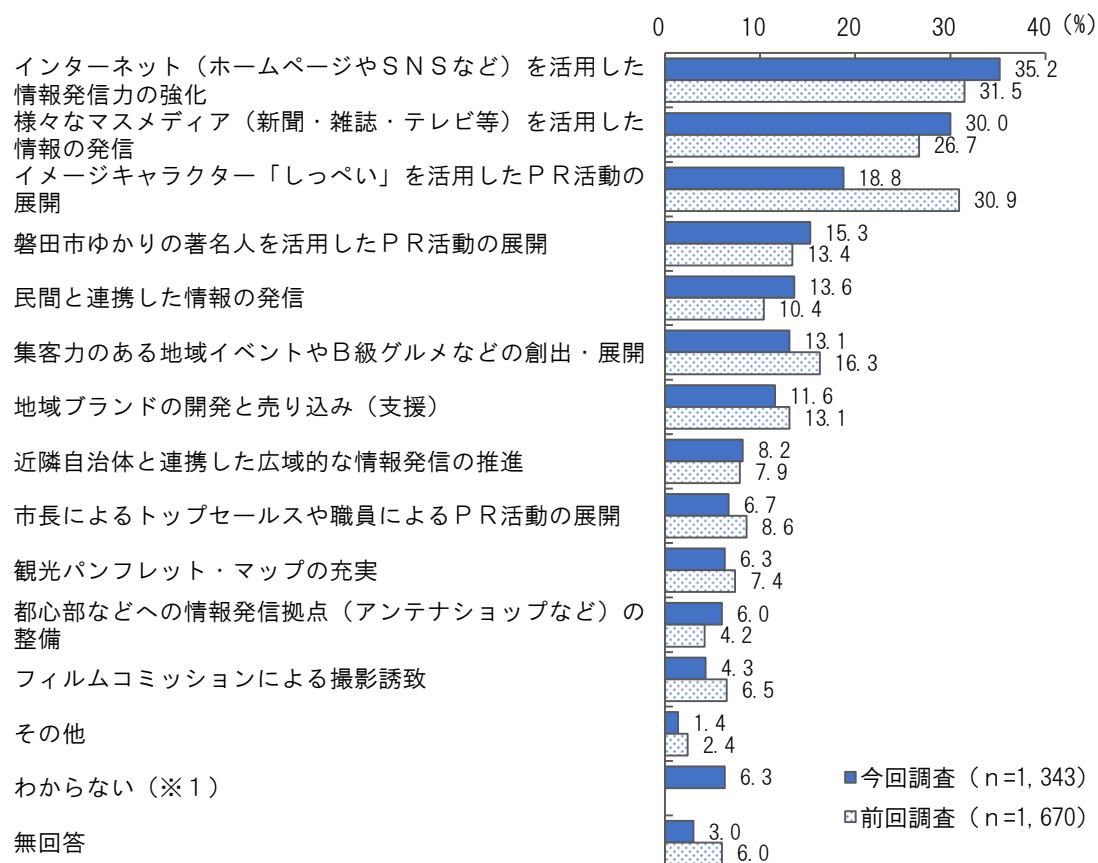
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」
- ・「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」（35.2%）が最も多く、次いで「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」（30.0%）、「イメージキャラクター『しっぺい』を活用したPR活動の展開」（18.8%）となっている。

■前回調査との比較

- ・「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」が3.7ポイント、「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」が3.3ポイント、「民間と連携した情報の発信」が3.2ポイント増加している。
- ・「イメージキャラクター『しっぺい』を活用したPR活動の展開」が12.1ポイント、「集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開」が3.2ポイント減少している。

■傾向

- 【性別】**
- ・上位2項目は、男女とも同じ項目となっている。
 - ・男性では「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」（37.7%）が最も多く、次いで「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」（28.0%）、「磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開」（18.0%）となっている。
 - ・女性では「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」（33.4%）が最も多く、次いで「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」（32.1%）、「イメージキャラクター『しっぺい』を活用したPR活動の展開」（22.3%）となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」が最も多い。
 - ・70歳以上では「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」（35.5%）が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・岩田・大藤・向笠地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区では「様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信」が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化」が最も多い。

8. 行政運営について

(1) これからの行政サービスの水準と市民の負担のあり方についての考え

問 22 地方自治体を取り巻く財政状況は厳しく、今までの行政サービスをすべて同じ水準で維持することは難しい状況です。このような時代を迎え、これからの行政サービスの水準と市民の負担のあり方についてどう思いますか？

<○印を1つ>

行政サービスの水準と市民の負担のあり方で最も多い回答は、

「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」

■前回調査との比較

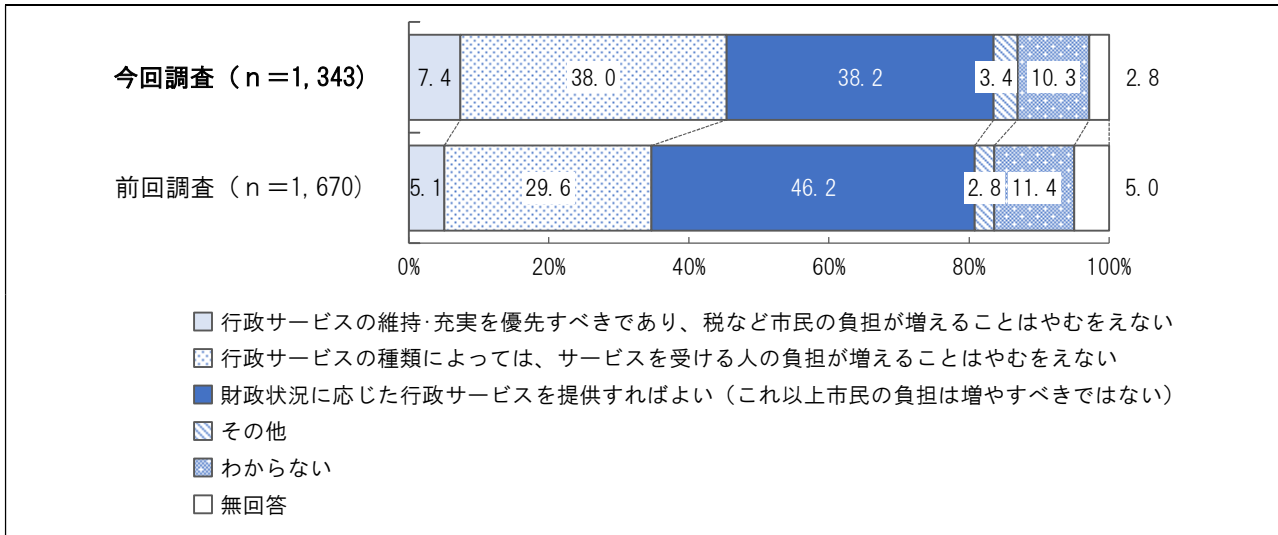
「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が増加し、「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」が減少している

■傾 向

【性別】男性では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多く、女性では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」が最も多い

【年代別】30歳未満、30歳代、50歳代、60歳代では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多く、40歳代、70歳以上では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」が最も多い

【居住地区別】見付地区、中泉・今之浦地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多く、それ以外の居住地区では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やさすべきではない)」が最も多い



■今回調査の結果

- ・「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」(38.2%) が最も多く、次いで「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」(38.0%)、「行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない」(7.4%) となっている。

■前回調査との比較

- ・「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が8.4ポイント増加している。
- ・「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」が8.0ポイント減少している。

■傾向

【性別】

- ・男性では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」(38.7%) が最も多く、次いで「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」(38.2%)、「行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない」(9.4%) となっている。
- ・女性では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」(38.5%) が最も多く、次いで「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」(37.3%)、「行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない」(5.9%) となっている。

【年代別】

- ・30歳未満、30歳代、50歳代、60歳代では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多い。
- ・40歳代、70歳以上では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」が最も多い。

【居住地区別】

- ・見付地区、中泉・今之浦地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区では「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」が最も多い。
- ・それ以外の居住地区では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい（これ以上市民の負担は増やすべきではない）」が最も多い。

(2) 磐田市の効率的な行政運営のために、今後さらに進めなければならないこと

問 23 磐田市においても行財政改革を推進し、効率的な行政運営に努めているところですが、今後さらに進めなければならないことは何だと思いませんか？

<○印を2つまで>

効率的な行政運営のために進めなければならないことは、

- ・「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」
- ・「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」

■前回調査との比較

- ・「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」が増加している
- ・「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が減少している

■傾 向

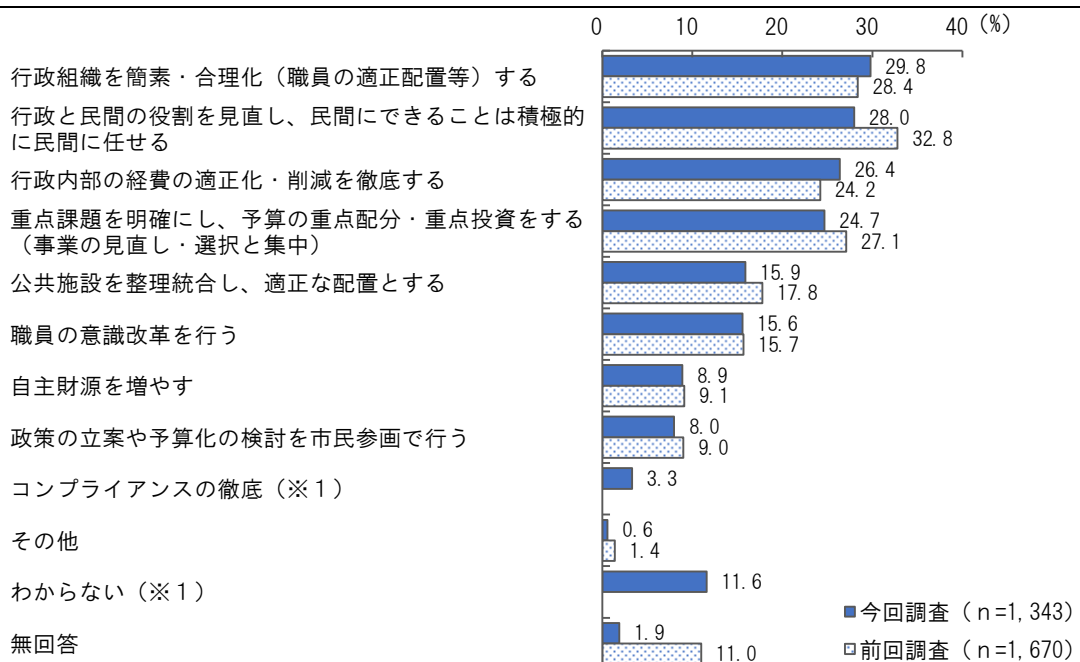
【性 別】大きな差はない

【年 代 別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」
- ・「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」
- ・「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」
- ・「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」
- ・「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」



※1：今回調査のみの選択肢である。

■今回調査の結果

- ・「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」（29.8%）が最も多く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」（28.0%）、「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」（26.4%）となっている。

■前回調査との比較

- ・「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」が2.2ポイント増加している。
- ・「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が4.8ポイント減少している。

■傾向

【性別】

- ・上位2項目は、男女とも同じ項目となっている。
- ・男性では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」（31.3%）が最も多く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」（29.3%）、「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」（27.1%）となっている。
- ・女性では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」（28.8%）が最も多く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」（26.6%）、「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」（26.5%）となっている。

【年代別】

- ・30歳未満、30歳代、40歳代では「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」が最も多い。
- ・50歳代、60歳代、70歳以上では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」が最も多い。

【居住地区別】

- ・見付地区、中泉・今之浦地区では「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が最も多い。
- ・岩田・大藤・向笠地区では「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」（それぞれ29.5%）が最も多い。
- ・西貝・御厨・南御厨・田原地区、福田地区では「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」が最も多い。
- ・天竜・長野・於保地区、井通地区・青城地区、豊岡地区では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」が最も多い。
- ・竜洋地区では「行政組織を簡素・合理化（職員の適正配置等）する」「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」（それぞれ29.1%）が最も多い。
- ・富岡・豊田東・池田地区では「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする（事業の見直し・選択と集中）」（29.7%）が最も多い。

9. SDGsの取組みについて

(1) SDGsの認知度

問 24 あなたは、SDGsを知っていましたか？ <○印を1つ>

SDGsを『名称を知っていた』※人は約3割

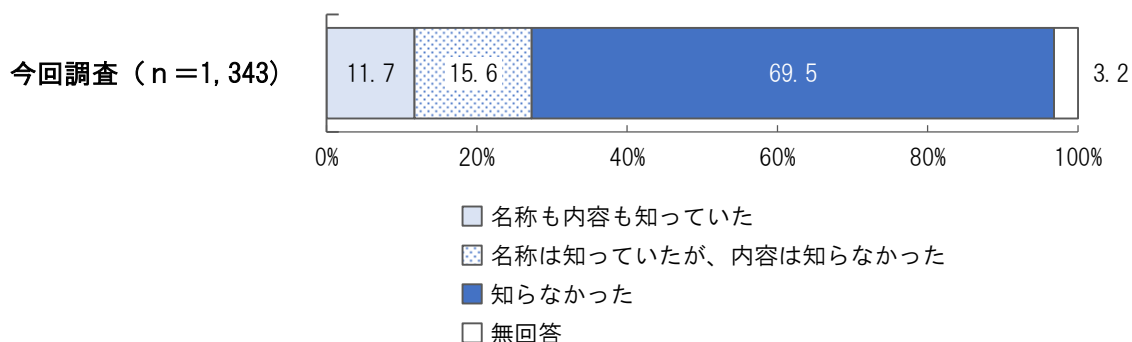
※『名称を知っていた』:「名称も内容も知っていた」+「名称は知っていたが、内容は知らなかった」

■傾向

【性別】SDGsを知っていた人は、男性では約3割、女性では約2割

【年代別】すべて年代で「知らなかった」が最も多い

【居住地区別】すべての居住地区で「知らなかった」が最も多い



■今回調査の結果

- ・「知らなかった」(69.5%) が最も多く、次いで「名称は知っていたが、内容は知らなかった」(15.6%)、「名称も内容も知っていた」(11.7%) となっている。
- ・『名称を知っていた』(「名称も内容も知っていた」+「名称は知っていたが、内容は知らなかった」) は27.3%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「知らなかった」(64.6%) が最も多く、次いで「名称は知っていたが、内容は知らなかった」(18.0%)、「名称も内容も知っていた」(15.3%) となっている。また、『名称を知っていた』は33.3%となっている。
 - ・女性では「知らなかった」(74.7%) が最も多く、次いで「名称は知っていたが、内容は知らなかった」(13.6%)、「名称も内容も知っていた」(8.3%) となっている。また、『名称を知っていた』は21.9%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「知らなかった」が最も多い。
 - ・『名称を知っていた』は30歳未満(40.3%) が最も多い。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「知らなかった」が最も多い。
 - ・『名称を知っていた』は富岡・豊田東・池田地区(37.7%) が最も多い。

(2) SDGsの関心度

(問24で「名称も内容も知っていた」又は「名称は知っていたが、内容は知らなかった」と回答した方のみ)

問25 あなたは、SDGsについてどの程度関心がありますか？ <○印を1つ>

SDGsに『関心がある』(「非常に関心がある」+「やや関心がある」)人は約7割

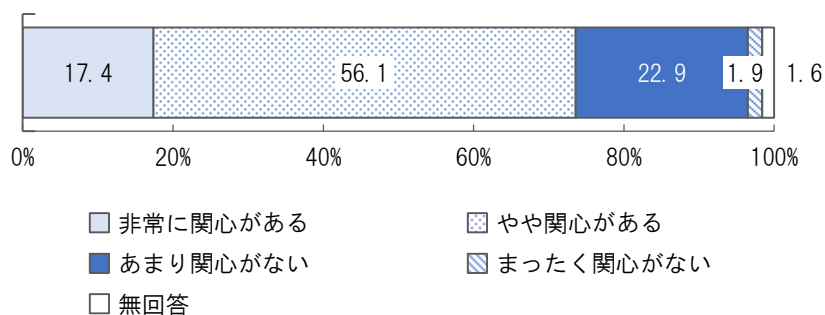
■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべて年代で「やや関心がある」が最も多い

【居住地区別】すべての居住地区で「やや関心がある」が最も多い

今回調査 (n=367)



■今回調査の結果

- ・「やや関心がある」(56.1%)が最も多く、次いで「あまり関心がない」(22.9%)、「非常に関心がある」(17.4%)となっている。
- ・『関心がある』(「非常に関心がある」+「やや関心がある」)は73.5%、『関心がない』(「あまり関心がない」+「まったく関心がない」)は24.8%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「やや関心がある」(54.5%)が最も多く、次いで「あまり関心がない」(25.8%)、「非常に関心がある」(16.9%)となっている。また、『関心がある』は71.4%、『関心がない』は28.6%となっている。
 - ・女性では「やや関心がある」(58.7%)が最も多く、次いで「非常に関心がある」「あまり関心がない」(それぞれ18.7%)となっている。また、『関心がある』は77.4%、『関心がない』は19.4%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「やや関心がある」が最も多い。
 - ・『関心がある』は40歳代(79.0%)が最も高い。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「やや関心がある」が最も多い。
 - ・『関心がある』は西貝・御厨・南御厨・田原地区(87.2%)が最も高い。

(3) SDGsの17の目標（ゴール）のうち、今後の市政において特に優先すべきもの

問 26 SDGsの17の目標（ゴール）のうち、今後の市政において特に優先すべきと思う目標（ゴール）はどれですか？ <○印を3つまで>

SDGsの17の目標のうち、今後の市政において優先すべきものは、

- ・「3 すべての人に健康と福祉を」
- ・「11 住み続けられるまちづくりを」
- ・「13 気候変動に具体的な対策を」

■傾向

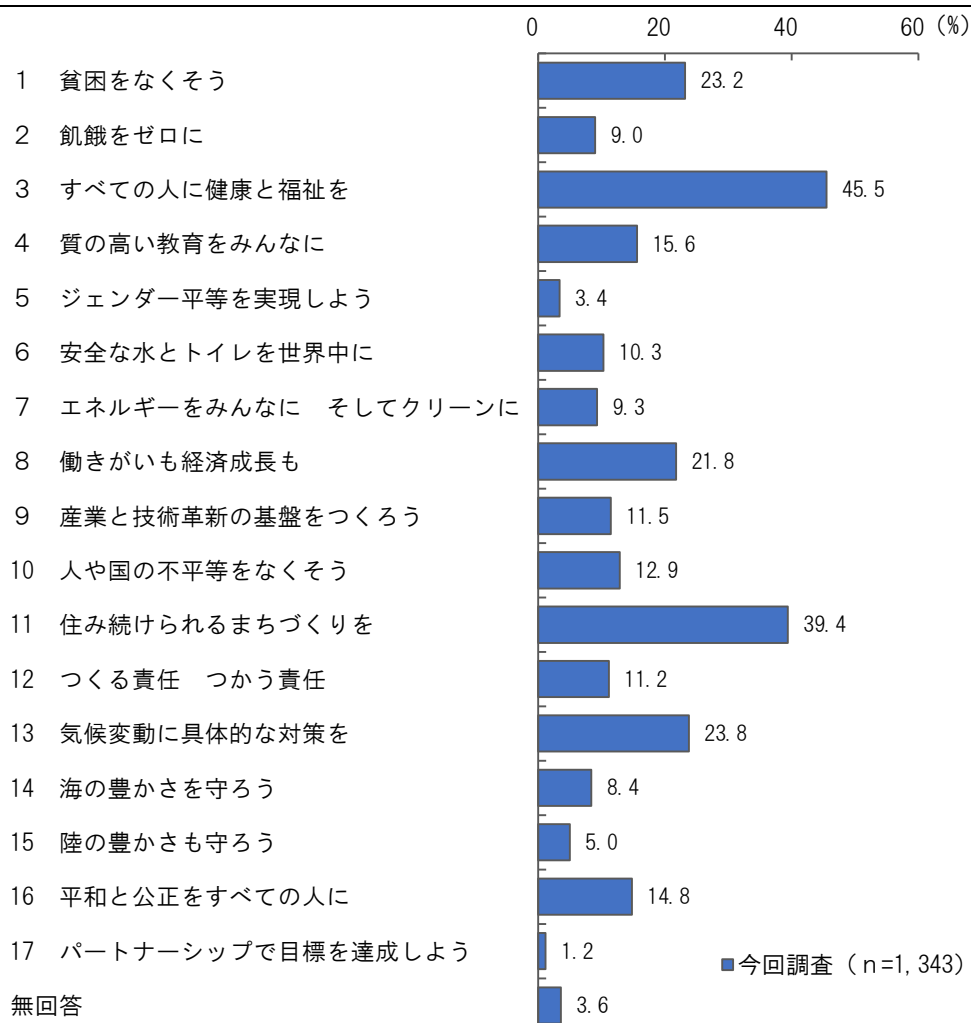
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「住み続けられるまちづくりを」
- ・「すべての人に健康と福祉を」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「住み続けられるまちづくりを」
- ・「すべての人に健康と福祉を」



■今回調査の結果

- ・「すべての人に健康と福祉を」(45.5%)が最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」(39.4%)、「気候変動に具体的な対策を」(23.8%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
 - ・順位の違いはあるが、男女とも上位5項目は同じ項目となっている。
 - ・男性では「すべての人に健康と福祉を」(42.6%)が最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」(38.8%)、「貧困をなくそう」(23.3%)となっている。
 - ・女性では「すべての人に健康と福祉を」(48.5%)が最も多く、次いで「住み続けられるまちづくりを」(40.1%)、「気候変動に具体的な対策を」(25.3%)となっている。
- 【年代別】**
 - ・30歳未満、40歳代では「住み続けられるまちづくりを」が最も多い。
 - ・30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「すべての人に健康と福祉を」が最も多い。
- 【居住地区別】**
 - ・井通地区・青城地区、豊岡地区では「住み続けられるまちづくりを」が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「すべての人に健康と福祉を」が最も多い。

10. 市政への市民参画について

(1) 市政参画の関心度

問 27 あなたは、市政への参画についてどの程度関心がありますか？

<○印を1つ>

市政への参画に『関心がある』※人は約4割

※『関心がある』:「非常に関心がある」+「やや関心がある」

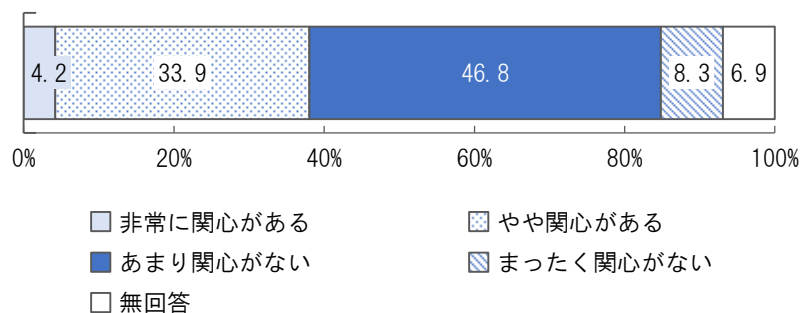
■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべて年代で「あまり関心がない」が最も多く、『関心がある』は70歳以上が最も多い

【居住地区別】ほとんどの居住地区で「あまり関心がない」が最も多い

今回調査 (n=1,343)



■今回調査の結果

- ・『関心がある』(「非常に関心がある」+「やや関心がある」)は38.1%、『関心がない』(「あまり関心がない」+「まったく関心がない」)は55.1%となっている。
- ・「あまり関心がない」(46.8%)が最も多く、次いで「やや関心がある」(33.9%)、「まったく関心がない」(8.3%)となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「あまり関心がない」(44.3%)が最も多く、次いで「やや関心がある」(35.1%)、「まったく関心がない」(9.4%)となっている。また、『関心がある』は40.6%、『関心がない』は53.7%となっている。
 - ・女性では「あまり関心がない」(49.5%)が最も多く、次いで「やや関心がある」(32.9%)、「まったく関心がない」(7.3%)となっている。また、『関心がある』は35.8%、『関心がない』は56.8%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い年代は、70歳以上(44.1%)となっている。
- 【居住地区別】
- ・井通地区・青城地区では「やや関心がある」(43.2%)が最も多く、それ以外の居住地区では「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い居住地区は、井通地区・青城地区(49.1%)となっている。

このページは白紙です

(2) 市政参画方法別の関心度

問 28 あなたは、以下のような市政への参画に関心がありますか？

<○印をそれぞれ1つ>

①磐田市の計画策定などの説明会やワークショップ（意見交換）、まちづくり懇話会に参加すること

『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）人は約3割

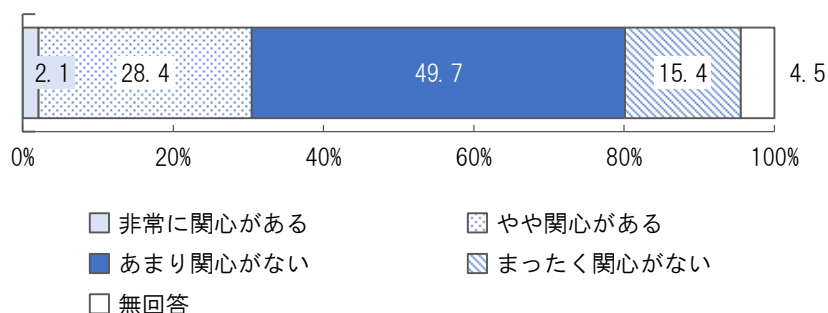
■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】最も『関心がある』年代は60歳代

【居住地区別】最も『関心がある』居住地区は井通地区・青城地区

今回調査（n=1,343）



■今回調査の結果

- ・「あまり関心がない」（49.7%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（28.4%）、「まったく関心がない」（15.4%）となっている。
- ・『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）は30.5%、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）は65.1%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「あまり関心がない」（47.4%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（31.3%）、「まったく関心がない」（15.2%）となっている。また、『関心がある』は34.0%、『関心がない』は62.6%となっている。
 - ・女性では「あまり関心がない」（52.3%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（25.8%）、「まったく関心がない」（16.1%）となっている。また、『関心がある』は27.1%、『関心がない』は68.4%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い年代は、60歳代（32.7%）となっている。
- 【居住地区別】
- ・井通地区・青城地区では「やや関心がある」（41.5%）が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い居住地区は、井通地区・青城地区（45.7%）となっている。

②磐田市の審議会などの委員に応募すること

『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）人は約 1 割

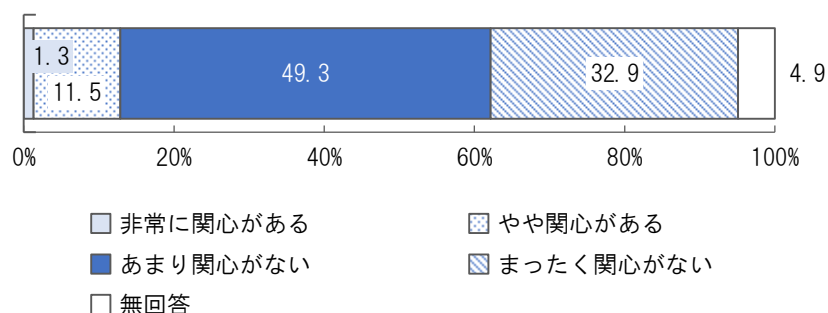
■傾 向

【性 別】『関心がある』人は、男性では約 2 割、女性では約 1 割

【年 代 別】すべての年代で『関心がある』は 2 割以下

【居住地区別】すべての居住地区で「あまり関心がない」が最も多い

今回調査（n=1,343）



■今回調査の結果

- ・「あまり関心がない」（49.3%）が最も多く、次いで「まったく関心がない」（32.9%）、「やや関心がある」（11.5%）となっている。
- ・『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）は 12.8%、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）は 82.2%となっている。

■傾 向

- 【性 別】
- ・男性では「あまり関心がない」（48.4%）が最も多く、次いで「まったく関心がない」（29.4%）、「やや関心がある」（16.3%）となっている。また、『関心がある』は 18.5%、『関心がない』は 77.8%となっている。
 - ・女性では「あまり関心がない」（50.8%）が最も多く、次いで「まったく関心がない」（36.5%）、「やや関心がある」（7.2%）となっている。また、『関心がある』は 7.6%、『関心がない』は 87.3%となっている。
- 【年 代 別】
- ・30 歳未満、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・30 歳代では「あまり関心がない」「まったく関心がない」（それぞれ 42.4%）が最も多い。
 - ・すべての年代で『関心がある』は 2 割以下となっており、最も多い年代は、30 歳代（15.2%）となっている。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い居住地区は、井通地区・青城地区（25.4%）となっている。

③磐田市の計画策定などに意見（パブリックコメントなど）を提出すること

『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）人は約3割

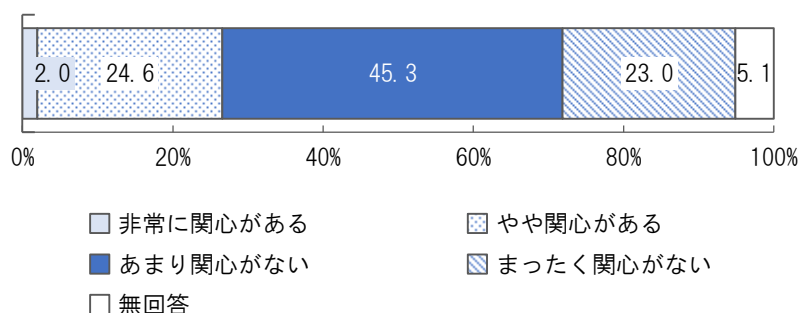
■傾向

【性別】『関心がある』人は、男性では約3割、女性では約2割

【年代別】最も『関心がある』年代は30歳未満

【居住地区別】最も『関心がある』居住地区は井通地区・青城地区

今回調査（n=1,343）



■今回調査の結果

- ・「あまり関心がない」（45.3%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（24.6%）、「まったく関心がない」（23.0%）となっている。
- ・『関心がある』（「非常に関心がある」＋「やや関心がある」）は26.6%、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）は68.3%となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「あまり関心がない」（42.4%）が最も多く、次いで「やや関心がある」（28.8%）、「まったく関心がない」（22.1%）となっている。また、『関心がある』は31.6%、『関心がない』は64.5%となっている。
 - ・女性では「あまり関心がない」（48.8%）が最も多く、次いで「まったく関心がない」（24.3%）、「やや関心がある」（20.6%）となっている。また、『関心がある』は21.8%、『関心がない』は73.1%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い年代は、30歳未満（33.8%）となっている。
- 【居住地区別】
- ・井通地区・青城地区では「やや関心がある」「あまり関心がない」（それぞれ38.1%）が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「あまり関心がない」が最も多い。
 - ・『関心がある』が最も多い居住地区は、井通地区・青城地区（40.6%）となっている。

このページは白紙です

(3) 市民の市政参画を促すために、特に必要なこと

問 29 市民の市政参画を促すために、特に必要なことは何だと思えますか？

<○印を2つまで>

市民の市政参画を促すために必要なことは、

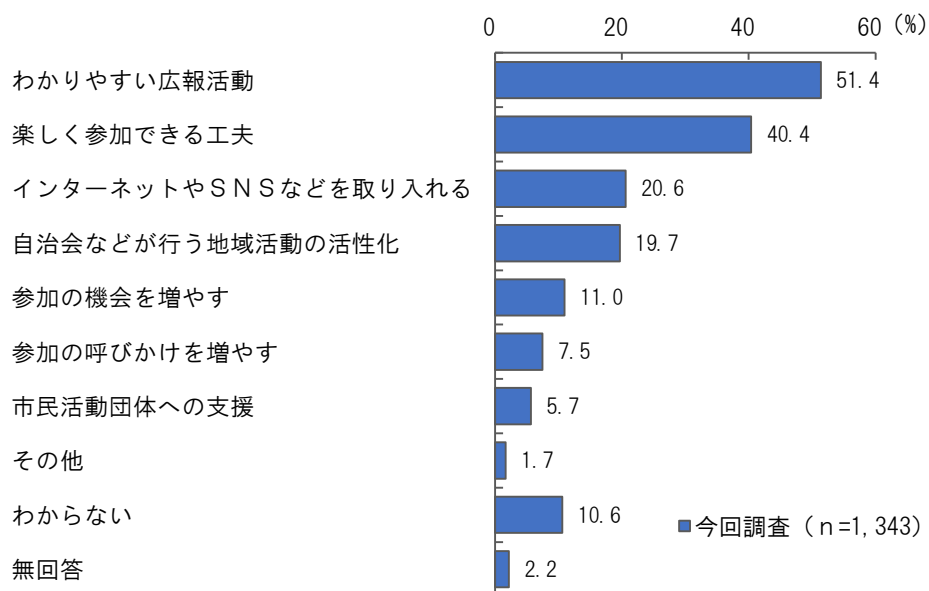
- ・「わかりやすい広報活動」
- ・「楽しく参加できる工夫」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、「わかりやすい広報活動」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、「わかりやすい広報活動」



■今回調査の結果

- ・「わかりやすい広報活動」(51.4%)が最も多く、次いで「楽しく参加できる工夫」(40.4%)、「インターネットやSNSなどを取り入れる」(20.6%)となっている。

■傾向

- 【性別】
 - ・男性では「わかりやすい広報活動」(50.5%)が最も多く、次いで「楽しく参加できる工夫」(37.7%)、「インターネットやSNSなどを取り入れる」(22.7%)となっている。
 - ・女性では「わかりやすい広報活動」(52.7%)が最も多く、次いで「楽しく参加できる工夫」(42.9%)、「自治会などが行う地域活動の活性化」(19.3%)となっている。
- 【年代別】
 - ・30歳未満では「インターネットやSNSなどを取り入れる」(49.4%)が最も多い。
 - ・30歳代では「楽しく参加できる工夫」(52.8%)が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「わかりやすい広報活動」が最も多い。
- 【居住地区別】
 - ・豊岡地区では「楽しく参加できる工夫」(46.3%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「わかりやすい広報活動」が最も多い。

11. 新型コロナウイルス感染症について

1) 新型コロナウイルス感染症の影響による家庭の収入の変化状況

問 30 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭の収入には変化がありましたか？
<○印を1つ>

家庭の収入が『減少した』※は約4割

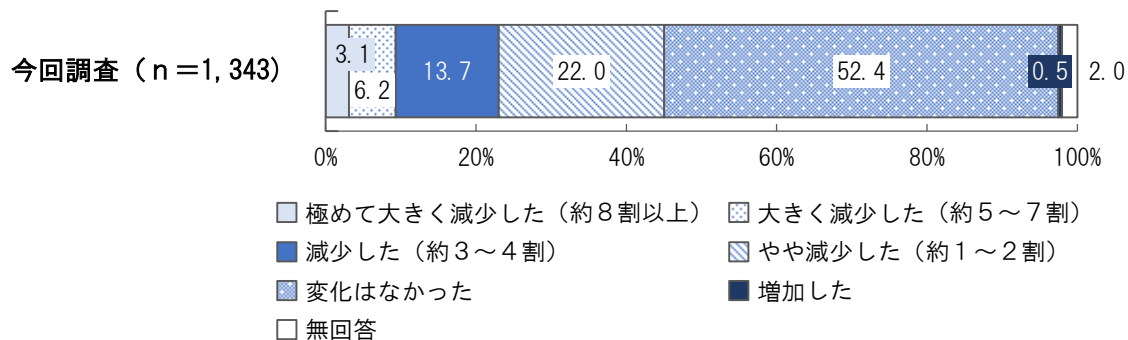
※『減少した』:「極めて大きく減少した(約8割以上)」+「大きく減少した(約5~7割)」
+「減少した(約3~4割)」+「やや減少した(約1~2割)」

■傾向

【性別】『減少した』は男性が多い

【年代別】最も『減少した』が多い年代は、30歳未満

【居住地区別】最も『減少した』が多い居住地区は、天竜・長野・於保地区



■今回調査の結果

- ・『減少した』(「極めて大きく減少した(約8割以上)」+「大きく減少した(約5~7割)」+「減少した(約3~4割)」+「やや減少した(約1~2割)」)は45.0%となっている。
- ・「変化はなかった」(52.4%)が最も多く、次いで「やや減少した(約1~2割)」(22.0%)、「減少した(約3~4割)」(13.7%)となっている。

■傾向

- 【性別】
- ・男性では「変化はなかった」(46.2%)が最も多く、次いで「やや減少した(約1~2割)」(23.6%)、「減少した(約3~4割)」(18.2%)となっている。また、『減少した』は51.9%となっている。
 - ・女性では「変化はなかった」(59.2%)が最も多く、次いで「やや減少した(約1~2割)」(20.2%)、「減少した(約3~4割)」(9.7%)となっている。また、『減少した』は38.6%となっている。
- 【年代別】
- ・すべての年代で「変化はなかった」が最も多い。
 - ・最も『減少した』が多い年代は、30歳未満(61.1%)となっている。
- 【居住地区別】
- ・すべての居住地区で「変化はなかった」が最も多い。
 - ・最も『減少した』が多い居住地区は、天竜・長野・於保地区(50.5%)となっている。

このページは白紙です

(2) 今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と社会経済活動の維持のために、特に重要なこと

問 31 今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と社会経済活動の維持のために、特に重要なことは何だと思えますか？ <○印を2つまで>

感染拡大の防止と社会経済活動の維持のためには重要なことは

- ・「治療や療養のための医療体制の確保」
- ・「感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進」

■傾向

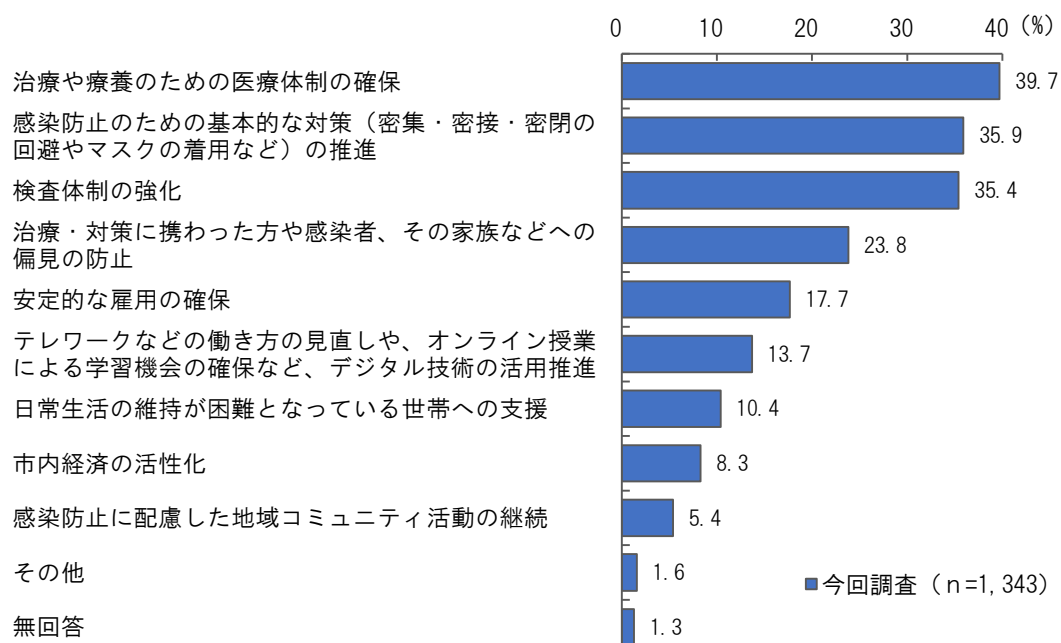
【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「治療や療養のための医療体制の確保」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「治療や療養のための医療体制の確保」
- ・「感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進」



■今回調査の結果

- ・「治療や療養のための医療体制の確保」(39.7%)が最も多く、次いで「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」(35.9%)、「検査体制の強化」(35.4%)となっている。

■傾向

- 【性別】**
- ・男性では「治療や療養のための医療体制の確保」(38.8%)が最も多く、次いで「検査体制の強化」(36.2%)、「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」(33.8%)となっている。
 - ・女性では「治療や療養のための医療体制の確保」(40.6%)が最も多く、次いで「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」(37.6%)、「検査体制の強化」(34.8%)となっている。
- 【年代別】**
- ・30歳未満では「テレワークなどの働き方の見直しや、オンライン授業による学習機会の確保など、デジタル技術の活用推進」(29.9%)が最も多い。
 - ・30歳代では「治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止」(34.4%)が最も多い。
 - ・40歳代、50歳代、60歳代では「治療や療養のための医療体制の確保」が最も多い。
 - ・70歳以上では「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」(47.2%)が最も多い。
- 【居住地区別】**
- ・中泉・今之浦地区、福田地区では「感染防止のための基本的な対策(密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など)の推進」が最も多い。
 - ・岩田・大藤・向笠地区では「検査体制の強化」(47.4%)が最も多い。
 - ・それ以外の居住地区では「治療や療養のための医療体制の確保」が最も多い。

このページは白紙です

IV 調査の結果

～ 共生社会について ～

1. 男女共同参画社会について

1) 男女の役割を固定的に考えることについての賛否

問 33 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについてどう思いますか？ <○印を1つ>

男女の役割を固定的に考えることについて、6割が『反対』

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべての年代で『反対』が5割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反対』が5割を超えている

2) 各分野における女性の意見の反映状況

問 34 あなたは、次のような分野で女性の意見がどの程度反映されていると思いますか？ <○印をそれぞれ1つ>

①市議会などの政治

『反映されていない』が約5割

■傾向

【性別】『反映されている』は男性が多い

【年代別】すべての年代で『反映されていない』が4割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反映されていない』が4割を超えている

②市などの行政

『反映されていない』が約5割

■傾向

【性別】『反映されている』は男性が多い

【年代別】すべての年代で『反映されていない』が3割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反映されていない』が3割を超えている

③企業などの職場

『反映されていない』が約4割

■傾向

【性別】『反映されていない』は男性が多い

【年代別】すべての年代で『反映されていない』が3割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反映されていない』が3割を超えている

④地域づくり協議会や自治会、PTAなどの地域

『反映されている』が約5割

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべての年代で『反映されている』が4割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『反映されている』が4割を超えている

3) 男女ともに活躍していくために、特に必要なこと

問 35 男女ともに家庭生活や地域生活、仕事の場で活躍していくためには、特に必要なことは何だと思えますか？ <○印を2つまで>

男女ともに活躍していくために必要なことは、

- ・「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」
- ・「育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること」

■傾向

【性別】男女とも「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」が最も多いが、「子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること」は男性は少なく女性が多い

【年代別】複数の年代で最も必要なことは、

- ・「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」
- ・「育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること」

【居住地区別】複数の居住地区で最も優先すべきものは、

- ・「性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること」

2. 多文化共生社会について

1) 地域で暮らす外国人の増加で予想されること

問 36 地域で暮らす外国人が増えると思うようになりますか？

〈該当するものすべてに○印〉

地域で暮らす外国人の増加で予想されることは、

- ・「地域や経済の活性化につながる」
- ・「治安が悪化する」
- ・「地域活動の担い手が増える」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「地域や経済の活性化につながる」
- ・「治安が悪化する」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「地域や経済の活性化につながる」
- ・「治安が悪化する」

2) 外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために最も必要なこと

問 37 外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために最も必要なことは何だと思いますか？ 〈該当するものすべてに○印*〉

外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために必要なことは、

- ・「外国人に地域のルールや習慣を伝える」
- ・「お互いの文化・習慣を学ぶ」
- ・「お互いが日常的にあいさつする」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「外国人に地域のルールや習慣を伝える」
- ・「お互いの文化・習慣を学ぶ」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「外国人に地域のルールや習慣を伝える」
- ・「お互いの文化・習慣を学ぶ」

3) 居住地域における地域活動への外国人住民の参加状況

問 38 あなたが生活している地域では、防災訓練や草刈り等の地域活動に外国人住民は参加していますか？ <○印を1つ>

外国人住民が地域活動に『参加している』と回答した人は、約2割

■傾向

【居住地区別】『参加している』は、竜洋地区で多く、豊岡地区で少ない

4) 地域活動への外国人住民の参加を促すために必要なこと

問 39 防災訓練や草刈り等の地域活動に外国人住民の参加を促すために必要なことは何だと思えますか？ <該当するものすべてに○印>

外国人住民の参加を促すためには、「外国人に自治会への加入を促す」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】複数の年代で最も多い項目は、

- ・「外国人に自治会への加入を促す」
- ・「多言語で案内チラシを作成する」

【居住地区別】複数の居住地区で最も多い項目は、

- ・「外国人に自治会への加入を促す」
- ・「多言語で案内チラシを作成する」
- ・「外国人を雇用する企業に協力を依頼する」

3. セクシュアルマイノリティ（性的少数者）について

1) セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の認知度

問 40 あなたは、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）という言葉を知っていましたか？ <○印を1つ>

セクシュアルマイノリティという『言葉を知っていた』人は、約8割

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】すべての年代で『言葉を知っていた』人は6割を超えている

【居住地区別】すべての居住地区で『言葉を知っていた』人は6割を超えている

2) 身近な人からセクシュアルマイノリティであると打ち明けられた場合の受け入れ

問 41 セクシュアルマイノリティ（性的少数者）と言われる方々は、周囲の理解不足や偏見などにより、社会の中で様々な困難に直面しています。あなたは身近な人（家族・友人等）から、セクシュアルマイノリティであると打ち明けられたとき、受け入れることができますか？ <○印を1つ>

身近な人からセクシュアルマイノリティであると打ち明けられた場合、

- ・約4割が「受け入れることができる」
- ・約5割が受け入れられるか「わからない」

■傾向

【性別】大きな差はない

【年代別】若い年代ほど「受け入れることができる」が多い

【居住地区別】すべての居住地区で「わからない」が最も多い

V 調査票

令和2年度（2020年度）
磐田市市民意識調査

《回答ご記入上の注意》

1. 宛名の方ご本人が回答をご記入ください。
2. 事情により、ご本人様がお答えいただけない場合は、ご家族の方がお答えください。
3. 調査票や返信用封筒（切手不要）にお名前を書いていただく必要はありません。
無記名でお答えいただきますので、どなたがお答えしたかわからないようになっています。
4. お答えいただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありません。
5. 回答は回答欄の番号に○印を、また（ ）内には具体的にお書きください。
6. この調査票は、両面印刷になっています。記入漏れのないようご注意ください。
7. 市民の皆様のお考えを行政に反映させるため、できる限り、すべての質問項目に回答していただきますよう、お願いいたします。
8. なお、問4・問24～26・問40～41をご回答の際には、別添資料を併せてご覧ください。
9. 回答の記入が済みましたら、記入漏れがないかをご確認の上、**8月11日（火）**
までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにお近くのポストにご投函ください。

【お問い合わせ先】 磐田市企画部秘書政策課 政策・行革推進グループ

〒438-8650 磐田市国府台3番地1

電話：0538-37-4805

FAX：0538-36-8954

E-mail:kikaku@city.iwata.lg.jp

問4 磐田市では、総合計画に示す次の31の基本施策に取り組んでいます。次の①から⑳の各項目の満足度と重要度について、どのように感じていますか？記入例を参考に、それぞれ最も近いものを選んで○をつけてください。〈○印をそれぞれ1つ〉

※基本施策の主な内容は、別添資料（1～4ページ）をご参照ください。

分野	基本施策	満足度				重要度			
		満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
	最も近いものに○印を1つずつ⇒								
例	例 ○○○○○の推進	1	②	3	4	①	2	3	4
産業・雇用・観光・移住定住	① 元気な農林水産業の育成	1	2	3	4	1	2	3	4
	② 中小企業等の競争力強化と企業立地の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	③ 産業を担う人材の育成・就労の支援	1	2	3	4	1	2	3	4
	④ 交流人口の拡大と商業・サービスの活性化	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑤ ブランド力の強化とシティプロモーションの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑥ 移住・定住の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
自治・スポーツ・文化・歴史・共生	⑦ コミュニティと市民活動の活性化	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑧ スポーツの振興	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑨ 文化の振興と歴史遺産の整備、活用	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑩ 学習機会の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑪ 共生社会の確立	1	2	3	4	1	2	3	4
子育て・教育	⑫ 子ども・子育て支援の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑬ 特色ある教育の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑭ 子ども・若者の健全育成	1	2	3	4	1	2	3	4

分野	最も近いものに○印を1つずつ⇒ 基本施策	満足度				重要度			
		満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
健康・福祉	⑮ 地域福祉の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑯ 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑰ 障がい児者福祉の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑱ 健康づくりの推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑲ 地域医療体制の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
防災・消防・安全安心	⑳ 危機管理・防災対策の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉑ 消防・救急体制の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉒ 市民生活の安全・安心の確保	1	2	3	4	1	2	3	4
都市基盤・環境	㉓ 計画的な土地利用の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉔ 公共交通体系と道路網の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉕ 良好な住環境の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉖ 水道水の安定供給と下水道の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉗ 環境にやさしい社会の確立	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉘ 快適な生活環境の確保	1	2	3	4	1	2	3	4
行財政改革	㉙ 効率的・効果的な行政運営の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉚ 持続可能な財政基盤の確立	1	2	3	4	1	2	3	4
	㉛ 機動的な組織体制の構築と人材の育成	1	2	3	4	1	2	3	4

問 11 あなたが思う、磐田市の「暮らしやすい」「暮らしにくい」ところはどこですか？

＜「暮らしやすいところ」「暮らしにくいところ」それぞれに○印を3つまで＞

	暮らしやすいところ (○印を3つまで)	暮らしにくいところ (○印を3つまで)
① 公共交通機関が	充実しているから	不十分であるから
② 医療サービスが	充実しているから	不十分であるから
③ 福祉サービスの水準が	高いから	低いから
④ 子育ての環境が	整っているから	整っていないから
⑤ 子どもの教育環境が	充実しているから	不十分であるから
⑥ 公園などの憩いの場が	豊富であるから	乏しいから
⑦ 文化活動を行う場が	豊富であるから	乏しいから
⑧ スポーツをする場が	豊富であるから	乏しいから
⑨ 街並みが	美しいから	美しくないから
⑩ 娯楽施設が	充実しているから	不十分であるから
⑪ 働く場所が	多いから	少ないから
⑫ 住まいの環境が	良好であるから	良好でないから
⑬ 近隣の人々とのきずなが	強いから	弱いから
⑭ 災害が	少ないから	多いから
⑮ 公害が	少ないから	多いから
⑯ 上下水道が	整備されているから	整備されていないから
⑰ その他	[]	[]

問15は、問13で地域活動に「10 参加していない」と答えた方にお聞きします。

問15 あなたが、地域活動に参加していない主な理由は何ですか？〈○印を1つ〉

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 活動の情報（回覧板など）がないから | 2 活動の日程が合わないから |
| 3 一人では参加しづらいから | 4 活動時間が長いから |
| 5 人間関係が面倒だから | 6 興味がある活動がないから |
| 7 活動の必要性を感じていないから | |
| 8 仕事をしているため参加する時間がないから | |
| 9 その他（ | ） |

全員にお聞きします。

問16 地域活動をより活発にするための支援策として、特に優先すべきものは何だと思えますか？
〈○印を2つまで〉

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 1 活動機会の情報提供 | 2 相談窓口の充実 |
| 3 リーダーの育成や研修 | 4 小・中学校と地域との連携 |
| 5 交流センターの使いやすさ | 6 交流センターの整備 |
| 7 活動に対する補助金・助成金 | 8 地域づくり協議会 ^{※1} 等組織の育成・強化 |
| 9 組織・団体をつなぐ連絡体制 | 10 その他（ |
| 11 わからない | ） |

※1 地域の連携体制や団体・活動の見直しなど、地域課題への対応策を考える組織

5 福祉についてお聞きします。

問17 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、特に優先すべきものは何だと思えますか？〈○印を2つまで〉

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1 ボランティアなどの参加の促進や支援 | |
| 2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 | |
| 3 身近なところでの相談窓口の充実 | |
| 4 在宅医療・在宅福祉を支えるサービスの充実 | |
| 5 保健福祉医療に関する情報提供や制度案内の充実 | |
| 6 専門的な診療や検査、救急などの医療サービスの充実 | |
| 7 高齢者や障がいのある方の入所施設の充実 | 8 学校での福祉や保健に関する教育の充実 |
| 9 保育サービスなどの子育て支援の充実 | 10 低所得者福祉の充実 |
| 11 道路・商店・病院・公共交通機関などのバリアフリー化 | |
| 12 介護予防教室などの健康の維持・増進 | 13 高齢者の生きがいつくり |
| 14 子どもと触れ合うなど、世代間交流の促進 | 15 公共交通など移動手段の確保 |
| 16 その他（ | ） |
| | 17 わからない |

6 子育て・教育についてお聞きます。

問 18 安心して子どもを産み育てるために、特に優先すべきものは何だと思えますか？

<○印を2つまで>

- 1 幼稚園や保育園、こども園などの施設整備
- 2 延長保育、一時保育などの保育サービスの充実
- 3 子育てに関する情報提供や相談体制の充実
- 4 健康診査や家庭訪問などの母子保健対策の充実
- 5 放課後児童クラブなど、放課後児童対策の充実
- 6 公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備
- 7 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化
- 8 子どもを持つ親同士が交流できる機会の充実
- 9 子育て家庭に対する経済的な支援
- 10 手助けがほしい家庭を地域の人がボランティアで手伝う体制の整備
- 11 産科・小児科医療の充実
- 12 子どもの発達支援対策の充実
- 13 その他 ()
- 14 わからない

問 19 子どもたちに対する教育を充実させるために、特に優先すべきものは何だと思えますか？

<○印を2つまで>

- 1 地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）の推進
- 2 健やかでたくましい心身の育成
- 3 いじめを未然防止する「心の教育」の充実
- 4 小中一貫教育の充実
- 5 「確かな学力」^{※1}の育成
- 6 ふるさとについて学ぶ機会の充実
- 7 一人ひとりに応じたきめ細かな支援・指導の充実
- 8 教師の指導力の向上
- 9 学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実
- 10 子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策
- 11 1クラス 35 人以下とする少人数学級制の推進^{※2}
- 12 その他 ()
- 13 わからない

※1 学習する意欲・学習に必要な技能・自分で考えていく力等を総合した力

※2 磐田市では平成 21 年度から小中学校の全学年で少人数学級を実施

7 広報・広聴についてお聞きします。

問20 磐田市では、市の行事や行政サービスなどをお知らせするために、様々な広報活動を行っています。あなたは、普段、市からの情報を何を通じて得ていますか？

＜該当するものすべてに○印＞

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 広報いわた | 2 磐田市ホームページ |
| 3 議会だより「いわた羅針盤」 | 4 いわたホットライン ^{※1} |
| 5 磐田市公式SNS（フェイスブック・インスタグラム・ツイッター）など | |
| 6 自治会などの回覧板、掲示板 | 7 市の発行するパンフレットやチラシ |
| 8 磐田市情報館 ^{※2} | 9 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース |
| 10 SBSラジオ「磐田市情報館発！磐田情報局」 ^{※3} | |
| 11 公共掲示板（駅掲示板・デジタルサイネージ ^{※4} など） | |
| 12 知人・友人から | 13 市議会議員や市役所職員から |
| 14 民生委員や自治会から | 15 市の窓口や電話などでの問い合わせ |
| 16 その他（ | 17 特に情報は得ていない |

※1 携帯電話やパソコンなどのメール機能を利用して、防犯や子育て、イベント、同報無線放送内容など利用者が希望する項目を選択、登録することで、リアルタイムに情報を受け取れるサービス

※2 「ららぽーと磐田」内にある観光や産業をはじめとした市内の各種情報発信拠点

※3 SBSラジオ放送を活用し、「商工」「観光」など磐田市の旬な情報を毎週金曜日に発信

※4 近くにいる人や通りすがりの人に案内情報や広告などを表示する装置で、看板やポスターなどを電子化したもの

問21 磐田市の魅力を全国に発信していくために、どのようなことが特に有効だと思いますか？

＜○印を2つまで＞

- | |
|---|
| 1 インターネット（ホームページやSNSなど）を活用した情報発信力の強化 |
| 2 様々なマスメディア（新聞・雑誌・テレビ等）を活用した情報の発信 |
| 3 市長によるトップセールスや職員によるPR活動の展開 |
| 4 民間と連携した情報の発信 |
| 5 近隣自治体と連携した広域的な情報発信の推進 |
| 6 磐田市ゆかりの著名人を活用したPR活動の展開 |
| 7 イメージキャラクター「しっぺい」を活用したPR活動の展開 |
| 8 都心部などへの情報発信拠点（アンテナショップ ^{※1} など）の整備 |
| 9 観光パンフレット・マップの充実 |
| 10 地域ブランドの開発と売り込み（支援） |
| 11 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 |
| 12 フィルムコミッション ^{※2} による撮影誘致 |
| 13 その他（ |
| 14 わからない |

※1 地方自治体が東京・大阪などの繁華街で地元の特産品などを販売する店（サテライトショップなどとも言う）

※2 映画、テレビドラマ、コマーシャル等のロケーションの誘致と受入れ体制を整えた組織

8 行政運営についてお聞きします。

問22 地方自治体を取り巻く財政状況は厳しく、今までの行政サービスをすべて同じ水準で維持することは難しい状況です。このような時代を迎え、これからの行政サービスの水準と市民の負担のあり方についてどう思いますか？<○印を1つ>

- 1 行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない
- 2 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担(例：公共施設利用料金等)が増えることはやむをえない
- 3 財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やすべきではない)
- 4 その他 ()
- 5 わからない

問23 磐田市においても行財政改革を推進し、効率的な行政運営に努めているところですが、今後さらに進めなければならないことは何だと思えますか？<○印を2つまで>

- 1 行政組織を簡素・合理化(職員の適正配置等)する
- 2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする
- 3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる
- 4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中)
- 5 職員の意識改革を行う
- 6 行政内部の経費の適正化・削減を徹底する
- 7 政策の立案や予算化の検討を市民参画で行う
- 8 自主財源を増やす
- 9 コンプライアンスの徹底
- 10 その他 ()
- 11 わからない

9 SDGsの取り組みについてお聞きします。

※SDGsについては、別添資料（5ページ）をご参照ください。

問24 あなたは、SDGsを知っていましたか？〈○印を1つ〉

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1 名称も内容も知っていた | 2 名称は知っていたが、内容は知らなかった |
| 3 知らなかった | |

→問25は、問24で「1 名称も内容も知っていた」又は「2 名称は知っていたが、内容は知らなかった」とお答えの方にお聞きします。

問25 あなたは、SDGsについてどの程度関心がありますか？〈○印を1つ〉

- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常に関心がある | 2 やや関心がある |
| 3 あまり関心がない | 4 まったく関心がない |

全員にお聞きします。

問26 SDGsの17の目標（ゴール）のうち、今後の市政において特に優先すべきと思う目標（ゴール）はどれですか？別添資料5ページの「SDGsの17の目標（ゴール）一覧」から特に優先すべきと思うものを選んで、その目標（ゴール）の番号に○をつけてください。

〈○印を3つまで〉

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう |
| 15 陸の豊かさを守ろう | 16 平和と公正をすべての人に |
| 17 パートナリーシップで目標を達成しよう | |

10 市政への市民参画についてお聞きします。

問27 あなたは、市政への参画についてどの程度関心がありますか？<○印を1つ>

- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常に関心がある | 2 やや関心がある |
| 3 あまり関心がない | 4 まったく関心がない |

問28 あなたは、以下のような市政への参画に関心がありますか？記入例を参考に、それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。<○印をそれぞれ1つ>

設問項目	選択肢	非常に関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない
記入例	○○○○○に協力すること	1	②	3	4
①	磐田市の計画策定などの説明会やワークショップ(意見交換)、まちづくり懇話会に参加すること	1	2	3	4
②	磐田市の審議会などの委員に応募すること	1	2	3	4
③	磐田市の計画策定などに意見(パブリックコメントなど)を提出すること	1	2	3	4

問29 市民の市政参画を促すために、特に必要なことは何だと思えますか？

<○印を2つまで>

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 参加の機会を増やす | 2 わかりやすい広報活動 |
| 3 楽しく参加できる工夫 | 4 参加の呼びかけを増やす |
| 5 インターネットやSNSなどを取り入れる | 6 自治会などが行う地域活動の活性化 |
| 7 市民活動団体への支援 | 8 その他 () |
| 9 わからない | |

11 新型コロナウイルス感染症についてお聞きします。

問 30 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭の収入には変化がありましたか？

＜○印を1つ＞

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 極めて大きく減少した（約8割以上） | 2 大きく減少した（約5～7割） |
| 3 減少した（約3～4割） | 4 やや減少した（約1～2割） |
| 5 変化はなかった | 6 増加した |

問 31 今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と社会経済活動の維持のために、特に重要なことは何だと思えますか？＜○印を2つまで＞

- | |
|--|
| 1 市内経済の活性化 |
| 2 安定的な雇用の確保 |
| 3 感染防止のための基本的な対策（密集・密接・密閉の回避やマスクの着用など）の推進 |
| 4 テレワークなどの働き方の見直しや、オンライン授業による学習機会の確保など、デジタル技術の活用推進 |
| 5 治療や療養のための医療体制の確保 |
| 6 検査体制の強化 |
| 7 日常生活の維持が困難となっている世帯への支援 |
| 8 感染防止に配慮した地域コミュニティ活動の継続 |
| 9 治療・対策に携わった方や感染者、その家族などへの偏見の防止 |
| 10 その他（ ） |

12 磐田市のまちづくりについて自由な意見をお聞かせください。

問32 市民の皆さんの暮らしを豊かにするために、意見や提案（アイデア）、磐田市の将来像や夢をお持ちでしたら、ぜひ、お聞かせください。

第2章 共生社会について

13 男女共同参画社会についてお聞きします。

問33 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについてどう思いますか？〈○印を1つ〉

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

問34 あなたは、次のような分野で女性の意見がどの程度反映されていると思いますか？記入例を参考に、それぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。〈○印をそれぞれ1つ〉

分野	選択肢	十分反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	ほとんど反映されていない	わからない
例	〇〇〇〇などの場	1	②	3	4	5
①	市議会などの政治	1	2	3	4	5
②	市などの行政	1	2	3	4	5
③	企業などの職場	1	2	3	4	5
④	地域づくり協議会や自治会、PTAなどの地域	1	2	3	4	5

問35 男女ともに家庭生活や地域生活、仕事の場で活躍していくためには、特に必要なことは何だと思えますか？〈○印を2つまで〉

- | |
|--|
| 1 家事・育児参加に対する男性の抵抗感をなくすこと |
| 2 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること |
| 3 社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についての理解を高めること |
| 4 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること |
| 5 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること |
| 6 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、相談しやすい窓口を設けること |
| 7 性別に関係なく能力がある人には責任ある仕事を任せること |
| 8 女性自身が責任ある立場につくことへの抵抗感をなくすこと |
| 9 育児休暇・介護休暇を男女ともに取得する環境づくりを進めること |
| 10 子どものころから男女ともに家事、育児のスキルを身につけること |
| 11 その他 () |
| 12 わからない |

14 多文化共生社会についてお聞きします。

問36 地域で暮らす外国人が増えると思うようになりますか？<該当するものすべてに○印>

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 地域活動の担い手が増える | 2 地域や経済の活性化につながる |
| 3 外国語を学ぶ機会が増える | 4 日本の文化が損なわれる |
| 5 日本人の仕事が奪われる | 6 治安が悪化する |
| 7 その他 () | |

問37 外国人と日本人が互いに尊重し、対等な立場で暮らすために最も必要なことは何だと思えますか？<○印を1つ>

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 お互いが日常的にあいさつする | 2 外国人の地域活動への参加を促す |
| 3 外国人が日本語を身につける | 4 外国人に地域のルールや習慣を伝える |
| 5 お互いの文化・習慣を学ぶ | 6 その他 () |

問38 あなたが生活している地域では、防災訓練や草刈り等の地域活動に外国人住民は参加していますか？<○印を1つ>

- | | |
|------------|----------------|
| 1 よく参加している | 2 ときどき参加している |
| 3 参加していない | 4 参加しているかわからない |

問39 防災訓練や草刈り等の地域活動に外国人住民の参加を促すために必要なことは何だと思えますか？<該当するものすべてに○印>

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 外国人に自治会への加入を促す | 2 多言語で案内チラシを作成する |
| 3 日本人向けに外国人対応マニュアルを作成する | |
| 4 外国人を雇用する企業に協力を依頼する | 5 その他 () |

15 セクシュアルマイノリティ（性的少数者）についてお聞きします。

※セクシュアルマイノリティについては、別添資料（6ページ）をご参照ください。

問40 あなたは、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）という言葉を知っていましたか？<○印を1つ>

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1 言葉も意味も知っていた | 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった |
| 3 知らなかった | |

問41 セクシュアルマイノリティ（性的少数者）と言われる方々は、周囲の理解不足や偏見などにより、社会の中で様々な困難に直面しています。あなたは身近な人（家族・友人等）から、セクシュアルマイノリティであると打ち明けられたとき、受け入れることができますか？<○印を1つ>

- | | | |
|---------------|----------------|---------|
| 1 受け入れることができる | 2 受け入れることはできない | 3 わからない |
|---------------|----------------|---------|

第3章 回答者ご自身について

16 最後に、あなた（回答者）ご自身についてお聞きします。

問 42 あなたの性別をお答えください。〈○印を1つ〉

- 1 男性
- 2 女性

問 43 あなたの年齢をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| 7 70～79歳 | 8 80歳以上 | |

問 44 あなたの職業をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 勤め人（会社員・公務員・団体職員） | 2 会社・団体の役員 |
| 3 農林漁業の自営業 | 4 商・工・サービス業等の自営業 |
| 5 自由業・専門的職業（開業医、弁護士、芸術家等） | |
| 6 パート・アルバイト | 7 学生 |
| 8 専業主婦（夫） | 9 無職 |
| 10 その他（ | ） |

問 45 あなたの主な通勤・通学先をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | | |
|--------|--------------|--------------|----|
| 1 自宅 | 2 磐田市内（自宅以外） | 3 浜松市（ | 区） |
| 4 袋井市 | 5 森町 | 6 掛川市 | |
| 7 その他（ | ） | 8 通勤・通学していない | |

問 46 ご家族の構成をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | |
|--------------|--------------|---|
| 1 単身（ひとり暮らし） | 2 一世代（夫婦のみ） | |
| 3 二世帯（親と子） | 4 三世帯（親と子と孫） | |
| 5 兄弟姉妹 | 6 その他（ | ） |

問 47 は、問 46 で「3 二世帯（親と子）」～「6 その他」とお答えの方にお聞きします。

問 47 同居のご家族に次のような方はいますか。当てはまるものをお答えください。

〈該当するものすべてに○印〉

- | | | |
|---------------|-------|-------|
| 1 未就学児 | 2 小学生 | 3 中学生 |
| 4 中学生以下の者はいない | | |

問 48 あなたのお住まいの地区をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1 見付地区 | 2 中泉地区 |
| 3 今之浦地区 | 4 岩田・大藤・向笠地区 |
| 5 西貝・御厨・南御厨・田原地区 | 6 天竜・長野・於保地区 |
| 7 福田地区 | 8 竜洋地区 |
| 9 富岡・豊田東・池田地区（豊田中学校区） | 10 井通地区・青城地区（豊田南中学校区） |
| 11 豊岡地区 | |
| 12 わからない（具体的な地名をご記入ください： _____） | |

問 49 あなたのお住まいの形態をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | |
|----------------|---------|-------------|
| 1 持家 | 2 借家・借間 | 3 社宅・官舎・寮など |
| 4 その他（ _____ ） | | |

問 50 あなたのお住みの磐田市にお住みの年数をお答えください。〈○印を1つ〉

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1 2年未満 | 2 2年以上5年未満 | 3 5年以上10年未満 |
| 4 10年以上20年未満 | 5 20年以上 | |

アンケート調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

8月11日（火）までに、返信用封筒に入れ、
切手を貼らずに、お近くのポストにご投函ください。